科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 5 月 3 1 日現在

機関番号: 12601

研究種目: 新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間: 2016~2020 課題番号: 16H06477

研究課題名(和文)低速変形から高速すべりまでの地球科学的モデル構築

研究課題名(英文)Study on Geoscientific Modeling of Earthquake Phenomena from Low-speed Deformation to High-speed Slip

研究代表者

井出 哲 (Ide, Satoshi)

東京大学・大学院理学系研究科(理学部)・教授

研究者番号:90292713

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 103,800,000円

研究成果の概要(和文):地球科学的モデル化を通じて、スロー地震の発生原理解明を目指して研究を行った。(A)スロー地震諸現象の時間空間的な関連性の解明、(B)現実的ブレート運動システムにおけるモデル化、(C)巨大地震を含むブレート運動システムの予測可能性の検討、と3分野で研究を推進した。(A)ではスロー地震の広帯域の描像を明らかにしたことを中心に、見かけ上異なる現象の関連性理解に大きく貢献した。(B)では熱や水、複数断層など現実的要素を取り入れた様々なモデルを開発した。(C)では特に実験研究が進展し、震源核の2次元的な成長を把握するという大きな成果を得た。また機械学習による新たな研究の方向性についての手がかりも得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義 今世紀に見つかった新しい現象「スロー地震」の発生原理についての研究を行った。特にこれまで別々に考えられていた様々な現象がひとつながりの現象であることを、多くの証拠を使って示したことに意義がある。また、巨大地震発生に至るプロセスを再現する数値計算と岩石実験を行い、地震の準備過程についての理解を深めた。現在実用的な地震の予測は難しいが、なぜ難しいか、という点で物理学的な理解が深まった。

研究成果の概要(英文): Through geoscientific modeling, we conducted research to elucidate the principles of slow earthquakes. Specifically, the research was divided into three parts: (A) clarification of the temporal and spatial relationships among slow earthquake phenomena, (B) modeling in realistic plate tectonic systems, and (C) investigation of the predictability of plate motion including giant earthquakes.

In (A), we made a major contribution to understanding the relationship between apparently different phenomena, focusing on the clarification of the broadband picture of slow earthquakes. In (B), we developed various models incorporating realistic factors such as heat, water, and multiple faults. In (C), experimental studies were particularly advanced, and a major achievement was the understanding of the two-dimensional growth of the rupture nucleus. We also obtained clues for new research directions using machine learning.

研究分野: 固体地球惑星物理学

キーワード: スロー地震 沈み込み帯 微動 摩擦 潮汐 水 巨大地震 予測可能性

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

新学術研究領域「スロー地震学」は、近年世界中で発見された奇妙な現象、スロー地震の発生様式、発生環境、発生原理を明らかにすることを目的としていた。その中で、本計画研究 C01 班は地球科学的立場から発生原理の解明を担当した。

研究開始段階で、国際研究コミュニティではスロー地震研究の標準化への期待が急速に高まっていた。本研究では世界各地で断片的に観察されるスロー地震的現象を理解する標準となるような、包括的モデルを作成し、世界のスロー地震研究をリードすることを目指した。

2.研究の目的

スロー地震は微動、低周波地震、スロースリップなど異なる様相を持ち、多くは沈み込み帯で観察されるものの、地域的多様性が高い。また巨大地震発生地域周辺で発生し、巨大地震発生との関連も示唆されている。そこで本計画研究ではスロー地震諸現象の時間空間的な関連を調べ、現実的条件を仮定した数値モデルを構築、巨大地震を含めたプレート運動システムの予測可能性を調べる。様々な数値計算モデルをベースとして、数値計算、理論モデル、実験で得られる様々な知見を反映させる。さらに他計画研究の地球物理学的観測、物質科学的観察・実験、物理学的理論・実験などの結果を利用、かつ適切にフィードバックすることで分野融合的な研究を推し進める。そして世界のプレート境界の地球科学的環境の違いを参考に、現実的数値モデルを用いて発生する現象の違いを説明する。

3.研究の方法

本研究計画は地球科学的モデル化を通じて、スロー地震の発生原理解明を目指して研究を行ってきた。より具体的には、(A)スロー地震諸現象の時間空間的な関連性の解明、(B)現実的プレート運動システムにおけるモデル化、(C)巨大地震を含むプレート運動システムの予測可能性の検討、と3つのカテゴリーに分けて研究を推進した。手段としては数値モデルを利用した研究を主体とし、各種のデータ解析や実験研究も並行して行い、総合的にスロー地震の発生原理解明を目指した。また他研究計画の地球物理学的観測や物質科学的観察、実験や理論的考察の結果を適切に取り込み、領域としてのスロー地震現象の理解に貢献すること、なかでも領域全体で行っているスロー地震カタログ作成へ貢献をすることも目指した。

4.研究成果

(1)概要

3 つのカテゴリーのうち、(A)についてはスロー地震の広帯域の描像を明らかにしたことを中心に、見かけ上異なる現象の関連性理解に大きく貢献した。(B)では熱や水、複数断層など現実的要素を取り入れた様々なモデルを開発した。(C)では特に実験研究が進展し、震源核の2次元的な成長を把握するという大きな成果を得た。また機械学習による予測可能性という、新たな研究の方向性についての手がかりも得た。これらの研究は多数の論文として学術誌に公表されている。5年間各研究分担者・研究協力者が個々に成果を上げるとともに、領域集会に加えて毎年C01研究集会を行うなど、計画研究内部での議論を活発に行ったことが、より深みのある研究成果創出へつながった。

(2)広帯域スロー地震の描像

2016年4月に紀伊半島沖で発生したM6.0の地震と大規模な浅部スロー地震活動およびその前後の活動によって、スロースリップ、超低周波地震、テクトニック微動が同期発生しており、100秒から数へルツまで連続的なシグナルを放出していることが分かった(Araki et al., 2017, Science; Nakano et al., 2018, Nature Comm.; Kaneko et al., 2018, GRL; Ariyoshi et al., 2021, Frontier Earth Sci.)。これらの性質は超広帯域ブラウン運動スロー地震モデルで良く説明できる(Ide and Maury, 2018, GRL; Ide and Yabe, 2019, PAGEOPH)。超低周波地震とテクトニック微動の間のシグナルは深部スロー地震でも見られることも示され(Ide, 2019, JGR; Masuda et al., 2020, EPS, 図1)、少なくとも0.01 Hz以上の地震学的帯域ではスロー地震は超広帯域現象として発生していることが明らかになった。一方で東北沖で検出されたテクトニック微動(Nishikawa et al., 2019, Science)は普通の地震と近接しており、普通の地震とスロー地震のすみわけという従来の考えに修正を迫ることになった。

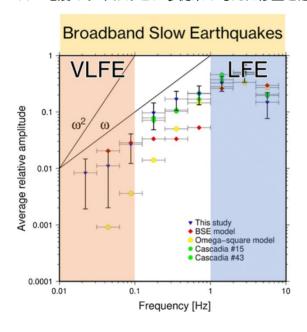


図 1 : 広帯域スロー地震のスケーリング (Masuda et al., 2020)より

(3)現実的摩擦則によるスロー地震の理解

RSF 摩擦則を用いたシミュレーションによってスロー地震の理解が大きく進んだ。摩擦特性が交互に変化する単純な線断層モデルだけでスロー地震(および普通の地震)の様々な振る舞いを説明することができることが明らかになった(Yabe and Ide, 2017, JGR; 2018, GRL; 2018, PEPI)。単純1枚面でない断層では摩擦パラメータが一様であっても複雑なスロースリップが生じ得ることを示した (Mitsui, 2018, EPS)。また余効すべり伝播速度と摩擦特性について定量的な関係式が導けることを示した(Ariyoshi et al., 2019, Tectonophysics)。また潮汐が短期的 SSE発生に及ぼす影響を平板に円形パッチ状の領域を設定したモデルで計算した。潮汐は SSE 発生の周期を安定化させ、外的な擾乱後により早く SSE を発生させる。一方、短期的 SSE の伝播フロントでは潮汐の効果は弱まることが分かった。

(4)スロー地震と温度と水

西南日本(Ji and Yoshioka, 2017, GRL; Suenaga et al., 2019, JGR)、東北日本~関東(Ji et al., 2017, JGR; Ji et al., Sci. Rep.; Suenaga et al., 2018, Tectonophysics, 図 2)、カスカディア(Ji et al., 2017, GRL)、ヒクランギ(Suenaga et al., 2018, JGR)、北部~中部チリ(Ji et al., 2019, J. Gepdynamics)の沈み込み帯において、2次元、及び3次元温度構造

モデリングを実施した。これらの結果から 1) 沈み込む海洋プレートの年齢が若いほど、高い温度でスロー地震が発生する傾向があること、2) スロー地震の発生位置は、沈み込み方向の脱水勾配の値で規定されることが明らかになった。水については、地表付近の水の荷重変形による応力載荷サイクルが地震活動を誘発している可能性 (Mitsui and Yamada, 2017) や微動のサイズ頻度分布をコントロールしている可能性 (Nakano and Yabe, 2021, GRL) が指摘されている。

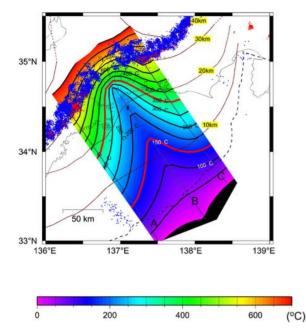


図 2 : プレート境界温度構造モデリング の例(Suenaga et al., 2018)より

(5)プレスリップの実験的観察

自然断層に近い不均質な実験環境におけるプレスリップの時空間的把握のため、メートル規模の岩石試料を用意し摩擦実験を実施した。岩石試料内に埋設した歪ゲージにより、プレスリップの2次元的な成長を観察することに成功した(Fukuyama et al., 2018, Tectonophysics)。また載荷速度が増すと震源核形成が起きないこと(Xu et al., 2018, Tectonophysics、図3)、断層面の不均質性が増すとプレスリップが始まる位置の予測が困難になること(Yamashita et al., 2018, Tectonophysics)、極めて不均質な場合には前震の cascade-up から本震が発生すること(Yamashita et al., 2021, Nature Communications)など多くの知見を得た。

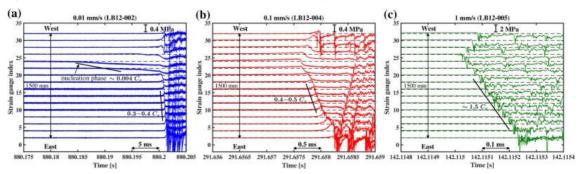


図3:載荷速度の違いによる破壊伝播の違い(Xu et al., 2018)より

(6)巨大地震と予測可能性

2011 年東北地方太平洋沖地震後の余効変動が余震とは指数の異なるスローなべき乗減衰をしていたことを見出し、余効変動が単純に余震を誘発するという概念が成り立っていないことを示した (Morikami and Mitsui, 2020, EPS)。同現象に機械学習の一種である再帰型ニューラ ルネットワークを適用し、予測性の向上に成功した(Yamaga and Mitsui, 2019, GRL)。遠地実体波

を用いた巨大地震の解析によって、巨大地震でもスロー地震等でみられる逆破壊伝播のような破壊伝播を持つ地震や、間欠的に加速・減速する地震が存在することを明らかにした(Hicks et al., Nature Geosci., 2020; Okuwaki et al., 2020, EPSL)。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計138件(うち杳読付論文 124件/うち国際共著 39件/うちオープンアクセス 81件)

〔雑誌論文〕 計138件(うち査読付論文 124件/うち国際共著 39件/うちオープンアクセス 81件)	
1.著者名 Chang Ta Wei、Ide Satoshi	4.巻 126
2.論文標題 Hypocenter Hotspots Illuminated Using a New Cross Correlation Based Hypocenter and Centroid Relocation Method	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6.最初と最後の頁 -
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2021JB021991	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Ide Satoshi	4.巻 126
2.論文標題 Empirical Low Frequency Earthquakes Synthesized From Tectonic Tremor Records	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6.最初と最後の頁 -
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2021JB022498	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Shibata Ritsuya、Aso Naofumi、Oikawa Genki、Nakajima Junichi、Ide Satoshi	4.巻 229
2.論文標題 Potential applicability and limitations of radiation-corrected empirical Green's functions for point-source cases	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 800-813
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gji/ggab503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Yamashita Futoshi、Fukuyama Eiichi、Xu Shiqing、Kawakata Hironori、Mizoguchi Kazuo、Takizawa Shigeru	4.巻 12
2.論文標題 Two end-member earthquake preparations illuminated by foreshock activity on a meter-scale laboratory fault	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Nature Communications	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-24625-4	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	. 244
	4 . 巻
Ide Satoshi、Araki Eiichiro、Matsumoto Hiroyuki	73
2.論文標題	5.発行年
Very broadband strain-rate measurements along a submarine fiber-optic cable off Cape Muroto,	2021年
Nankai subduction zone, Japan	こ 目知し目然の苦
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木柱の左仰
	査読の有無
10.1186/s40623-021-01385-5	有
オープンアクセス	国際共業
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 ***	4 . 巻
1 . 著者名	
Yamashita Shinji, Yagi Yuji, Okuwaki Ryo, Shimizu Kousuke, Agata Ryoichiro, Fukahata Yukitoshi	11
2.論文標題	C ※行生
	5 . 発行年
Consecutive ruptures on a complex conjugate fault system during the 2018 Gulf of Alaska	2021年
earthquake	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> 査読の有無
	_
10.1038/s41598-021-85522-w	有
オープンアクセス	国際共著
オープンティセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	当际六 有
オープンテクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
	4 · 공 48
Nakano Masaru、Yabe Suguru	40
2. 鈴文梅頭	5
	5 . 発行年
2.論文標題 Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough	5 . 発行年 2021年
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough	2021年
3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough	2021年
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	2021年 6.最初と最後の頁 -
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 - - 査読の有無
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 -
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 - - 査読の有無
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 126
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2 . 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 126
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2 . 論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 126 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2 . 論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2021年 6.最初と最後の頁
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2 . 論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020618	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 126 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Changes of Event Size Distribution During Episodes of Shallow Tectonic Tremor, Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL092011 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Nishikawa Tomoaki、Nishimura Takuya、Okada Yutaro 2.論文標題 Earthquake Swarm Detection Along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights Into the Relationship Between Seismicity and Slow Slip Events 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 126 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無

1.著者名 Mitsui Yuta、Muramatsu Hinako、Tanaka Yusaku	4.巻 11
2.論文標題 Slow deformation event between large intraslab earthquakes at the Tonga Trench	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁 -
 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-020-80728-w	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1 . 著者名 Ariyoshi Keisuke、linuma Takeshi、Nakano Masaru、Kimura Toshinori、Araki Eiichiro、Machida Yuya、Sueki Kentaro、Yada Shuichiro、Nishiyama Takehiro、Suzuki Kensuke、Hori Takane、Takahashi Narumi、Kodaira Shuichi	4.巻 8
2. 論文標題 Characteristics of Slow Slip Event in March 2020 Revealed From Borehole and DONET Observatories	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Earth Science	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/feart.2020.600793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Hasegawa Takuya、Nagano Akira、Ariyoshi Keisuke、Miyama Toru、Matsumoto Hiroyuki、Iwase Ryoichi、Wakita Masahide	4.巻 9
2. 論文標題 Effect of Ocean Fluid Changes on Pressure on the Seafloor: Ocean Assimilation Data Analysis on Warm-Core Rings off the Southeastern Coast of Hokkaido, Japan on an Interannual Timescale	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Earth Science	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/feart.2021.600930	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Nagano Akira、Yamashita Yusuke、Ariyoshi Keisuke、Hasegawa Takuya、Matsumoto Hiroyuki、 Shinohara Masanao	4 . 巻 8
2.論文標題 Seafloor Pressure Change Excited at the Northwest Corner of the Shikoku Basin by the Formation of the Kuroshio Large-Meander in September 2017	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Earth Science	6 . 最初と最後の頁 -
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/feart.2020.583481	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
** * ** **	

	1
1.著者名	4 . 巻
Ji Yingfeng、Yan Ruyu、Zeng Deng、Xie Chaodi、Zhu Weiling、Qu Rui、Yoshioka Shoichi	48
2.論文標題	5.発行年
Slab Dehydration in Sumatra: Implications for Fast and Slow Earthquakes and Arc Magmatism	2021年
,	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	-
despitys feat Research Letters	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1029/2020GL090576	有
10.1029/20200000370	, F
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · - · ·	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	談当りる
4 #40	
1 . 著者名	4 . 巻
Tatsumi Yoshiyuki、Suenaga Nobuaki、Yoshioka Shoichi、Kaneko Katsuya、Matsumoto Takumi	10
2.論文標題	5.発行年
Contrasting volcano spacing along SW Japan arc caused by difference in age of subducting	2020年
lithosphere	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-020-72173-6	有
10.1030/541390-020-72173-0	, F
オープンアクセス	国際共著
	当你不有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1 英型々	
1 . 著者名	4 . 巻
Komori Junki、Ando Ryosuke、Shishikura Masanobu	125
A A A LIETT	- 3v./= -
2 . 論文標題	5 . 発行年
Cluster Analysis of Marine Terraces and Quantitative Seismotectonic Interpretation of the Boso	2020年
Peninsula, Central Japan	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	-
4.50	1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	直読の有無有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019JB019211	 査読の有無 有
10.1029/2019JB019211	有
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス	
10.1029/2019JB019211	有
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	国際共著 -
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki	有 国際共著 - 4.巻 10
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate	有 国際共著 - 4.巻 10
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2020年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2020年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2020年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2020年
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名 Scientific Reports	有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名 Scientific Reports	有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2 . 論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-68692-x	有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - -
10.1029/2019JB019211 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Kubo Hisahiko、Nishikawa Tomoaki 2.論文標題 Relationship of preseismic, coseismic, and postseismic fault ruptures of two large interplate aftershocks of the 2011 Tohoku earthquake with slow-earthquake activity 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -

1 . 著者名 Toh A., Chen W. J., Takeuchi N., Dreger D. S., Chi W. C., Ide S. 2 . 論文標題 Influence of a Subducted Oceanic Ridge on the Distribution of Shallow VLFEs in the Nankai Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 6 . 最初と最後の頁 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス 1 . 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 4 . 巻 72 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . その子定である) 5 . 発行年 7 . その子定である。 6 . 最初と最後の頁 7 . その子にある。 6 . 最初と最後の頁 7 . その子にない。 この子にない。 この子にないない。 この子にないない。 この子にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	
2.論文標題 Influence of a Subducted Oceanic Ridge on the Distribution of Shallow VLFEs in the Nankai Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2.論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 6.最初と最後の更においては、その予定である) 5.発行年 2020年 5.発行年 2020年	
Influence of a Subducted Oceanic Ridge on the Distribution of Shallow VLFEs in the Nankai Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2020年 第数字標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3. 雑誌名 6. 最初と最後の更	
Influence of a Subducted Oceanic Ridge on the Distribution of Shallow VLFEs in the Nankai Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 有 オープンアクセス 「国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2020年 第3.雑誌名 4.巻 72 2.論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 6.最初と最後の更	
Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2.論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 6.最初と最後の更	
Trough as Revealed by Moment Tensor Inversion and Cluster Analysis 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の更	
3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2. 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 6. 最初と最後の資	
Geophysical Research Letters -	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087244 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2.論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 6.最初と最後の意	5
10.1029/2020GL087244	5
10.1029/2020GL087244	5
10.1029/2020GL087244	5
オープンアクセス 国際共著 ま当する Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する Aープンアクセスとしている(また、その予定である) なり A・巻 Ta Mei、Ide Satoshi 72	5
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する 1 . 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 4 . 巻 72 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	5
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する 1 . 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 4 . 巻 72 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	5
1 . 著者名 Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 4 . 巻 72 5 . 発行年 2020年	
Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 72 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
Chang Ta-Wei、Ide Satoshi 72 2 . 論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
2.論文標題 Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 3.雑誌名 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁	
Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
Toward comparable relative locations between the mainshock slip and aftershocks via empirical approaches 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
approaches 6.最初と最後の頁	ı
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
	頁
Latti. I jaieto allu opale	
20.11, 1.11, 1.11	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.1186/s40623-020-01203-4 有	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
7 7777 EACOCHO (&Z. CO) (&Z.	
1.著者名 4.巻	
Aranguiz Rafael, Esteban Miguel, Takagi Hiroshi, Mikami Takahito, Takabatake Tomoyuki, Gomez 62	
Matias, Gonzalez Juan, Shibayama Tomoya, Okuwaki Ryo, Yagi Yuji, Shimizu Kousuke, Achiari	
Hendra, Stolle Jacob, Robertson Ian, Ohira Koichiro, Nakamura Ryota, Nishida Yuta, Krautwald	
Clemens、Goseberg Nils、Nistor Ioan	
2 . 論文標題	
The 2018 Sulawesi tsunami in Palu city as a result of several landslides and coseismic tsunamis 2020年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	頁
Coastal Engineering Journal 445-459	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.1080/21664250.2020.1780719 有	
15	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	5
コープン・プログログ スロー・プラン・プログログ スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・スロー・	-
1 . 著者名 4 . 巻	
Masuda Koki, Ide Satoshi, Ohta Kazuaki, Matsuzawa Takanori 72	
,	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
2. 論又標題 Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年	
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年	
	
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	斯
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年	- In
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 6 . 最初と最後の頁	lm.'
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	hm/
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 6.最初と最後の頁。 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	land
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 6 . 最初と最後の頁	<u>भा</u> र
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-020-01172-8 有	頁
Bridging the gap between low-frequency and very-low-frequency earthquakes 2020年 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 6.最初と最後の頁。 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	<u> </u>

1.著者名	4 44
	4.巻
Sato Daisuke、Romanet Pierre、Ando Ryosuke	223
2.論文標題	5.発行年
Paradox of modelling curved faults revisited with general non-hypersingular stress Green's	2020年
functions	こ 目知に目後の否
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	197-210
	<u>│</u> │ 査読の有無
司 (10.1093/gj i /ggaa172	有
10.1000/yj1/yyda112	in the second se
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
Tadapansawut Tira、Okuwaki Ryo、Yagi Yuji、Yamashita Shinji	48
2. 論文標題	5 . 発行年
Rupture Process of the 2020 Caribbean Earthquake Along the Oriente Transform Fault, Involving	2021年
Supershear Rupture and Geometric Complexity of Fault	
B.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	0.取例に取及の負
συσρηγοτούτ ποσούτοπ Letters	
引載論文のDOⅠ(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2020GL090899	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Ozawa So、Ando Ryosuke	126
•	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 3V./- /-
¹ .	5.発行年
	5.発行年 2021年
論又標題 Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones	
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones	
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名	2021年
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3 .雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2021年 6.最初と最後の頁 -
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	2021年 6.最初と最後の頁 -
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 『最大のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench	2021年 6.最初と最後の頁
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 3戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2.論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3.雑誌名 Tectonophysics	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 800 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 228714-228714
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 日本語	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 800 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 228714-228714
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 800 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 228714-228714
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 5 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2. 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3. 雑誌名 Tectonophysics 5 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2020.228714	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 800 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 228714-228714 査読の有無 有
Mainshock and Aftershock Sequence Simulation in Geometrically Complex Fault Zones 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JB020865 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Yabe Suguru、Baba Satoru、Tonegawa Takashi、Nakano Masaru、Takemura Shunsuke 2 . 論文標題 Seismic energy radiation and along-strike heterogeneities of shallow tectonic tremors at the Nankai Trough and Japan Trench 3 . 雑誌名 Tectonophysics	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 800 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 228714-228714

1 . 著者名 Okuwaki Ryo、Hirano Shiro、Yagi Yuji、Shimizu Kousuke	4 .巻 547
2.論文標題 Inchworm-like source evolution through a geometrically complex fault fueled persistent supershear rupture during the 2018 Palu Indonesia earthquake	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	6.最初と最後の頁 116449-116449
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsI.2020.116449	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Romanet Pierre、Sato Daisuke、Ando Ryosuke	4 . 巻 223
2.論文標題 Curvature, a mechanical link between the geometrical complexities of a fault: application to bends, kinks and rough faults	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 211-232
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gji/ggaa308	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. #46	
1 . 著者名 Agata Ryoichiro、Kasahara Amato、Yagi Yuji	4 . 巻 225
2.論文標題 A Bayesian inference framework for fault slip distributions based on ensemble modelling of the uncertainty of underground structure: with a focus on uncertain fault dip	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1392-1411
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gj i /ggab033	 査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1.著者名 Ji Yingfeng、Yoshioka Shoichi	4.巻
2 . 論文標題 Depth variation of seismic moment and recurrence interval in Japan	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Geoscience Letters	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40562-020-00173-5	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1 . 著者名 Hicks Stephen P.、Okuwaki Ryo、Steinberg Andreas、Rychert Catherine A.、Harmon Nicholas、Abercrombie Rachel E.、Bogiatzis Petros、Schlaphorst David、Zahradnik Jiri、Kendall J-Michael、Yagi Yuji、Shimizu Kousuke、Sudhaus Henriette	4 . 巻 13
2 . 論文標題 Back-propagating supershear rupture in the 2016 Mw 7.1 Romanche transform fault earthquake	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Nature Geoscience	6 . 最初と最後の頁 647-653
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41561-020-0619-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Tatsumi Yoshiyuki、Suenaga Nobuaki、Yoshioka Shoichi、Kaneko Katsuya、Matsumoto Takumi	4.巻 10
2.論文標題 Contrasting volcano spacing along SW Japan arc caused by difference in age of subducting lithosphere	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-72173-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 五十島 亮哉、三井 雄太	4.巻 ⁴⁷
2.論文標題 海底地殻変動観測データとマルコフ連鎖モンテカルロ法に基づく南海トラフ浅部での複数のスローイベン トの検出	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 静岡大学地球科学研究報告	6.最初と最後の頁 59-65
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.51053/shizuoka.47.0_59	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
	1
1 . 著者名 Gomberg J.、Baxter P.、Smith E.、Ariyoshi K.、Chiswell S. M.	4.巻 47
2.論文標題 The Ocean's Impact on Slow Slip Events	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Geophysical Research Letters	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GL087273	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1.著者名	4.巻
Fujiwara Osamu、Goto Kazuhisa、Ando Ryosuke、Garrett Ed	210
2 . 論文標題	5.発行年
Paleotsunami research along the Nankai Trough and Ryukyu Trench subduction zones ? Current	2020年
achievements and future challenges	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth-Science Reviews	103333-103333
Earth Golding Novions	100000 100000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1016/j.earscirev.2020.103333	有
10.1010/j.earscriev.2020.103333	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
西川友章	70
<u> </u>	70
2 . 論文標題	5.発行年
スロー地震多発領域が東北地震の破壊を止めた	2020年
ハロ で版ン元県物川木心地辰VW校でエツに	2020
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
地震ジャーナル	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
吉岡祥一、Yuval A. Banay、田中もも、末永伸明、佐藤圭介	44
LIGHT COUNTY LINES TO STATE OF THE PARTY LINES TO STATE OF	
2.論文標題	5 . 発行年
太平洋沖地震に伴うプレート間における予効すべりと固着の時空間分布	2020年
太十/千/地震に注づプレード间にのける]/幼りパリと回信の時工间力作	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東濃地震科学研究所報告 Seq	33-49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Shi, Q., S. Barbot, S. Wei, P. Tapponnier, T. Matsuzawa and B. Shibazaki	72
2.論文標題	5.発行年
Structural control and system-level behavior of the seismic cycle at the Nankai Trough	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1186/s40623-020-1145-0	無
10.1100/340020 ⁻ U20 ⁻ 1140 ⁻ U	***
オープンアクセス	│国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1 . 著者名 Agata, R.	4 . 巻
Agata, R.	
- 194 C. 1	221
2 . 論文標題	5 . 発行年
Introduction of covariance components in slip inversion of geodetic data following a non-	2020年
introduction of covariance components in stip inversion of geodetre data for fowing a non-	20204
uniform spatial distribution and application to slip deficit rate estimation in the Nankai	
Trough subduction zone	
ag ouzutot.o 2010	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	1832 ~ 1844
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/gji/ggaa116	有
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	_
Morikami, S. and Y. Mitsui	72
2 签文博明	c
2.論文標題	5 . 発行年
Omori-like slow decay (p < 1) of postseismic displacement rates following the 2011 Tohoku	2020年
megathrust earthquake	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-020-01162-w	
10.1186/\$40623-020-01162-W	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	国际六省
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T . W
1.著者名	4 . 巻
	_
1.著者名 Aso, N., R. Ando and S. Ide	4.巻 46
Aso, N., R. Ando and S. Ide	46
Aso, N., R. Ando and S. Ide	46
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題	5 . 発行年
Aso, N., R. Ando and S. Ide	46
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal	5 . 発行年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations	46 5.発行年 2019年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal	5 . 発行年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations	46 5.発行年 2019年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347 ~ 14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347 ~ 14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347 ~ 14357 査読の有無 有 国際共著
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2.論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2.論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2.論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2.論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2 . 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2 . 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2 . 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL084578	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2. 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2. 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL084578	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892 査読の有無 有
Aso, N., R. Ando and S. Ide 2 . 論文標題 Ordinary and Slow Earthquakes Reproduced in a Simple Continuum System With Stochastic Temporal Stress Fluctuations 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL085010 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Yamaga, N. and Y. Mitsui 2 . 論文標題 Machine Learning Approach to Characterize the Postseismic Deformation of the 2011 Tohoku Oki Earthquake Based on Recurrent Neural Network 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL084578	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 14347~14357 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 11886~11892 査読の有無 有

1 . 著者名 📗 📗	4 . 巻
Hasegawa, T., A. Nagano, H. Matsumoto, K. Ariyoshi, and M. Wakita	40
haddgalla, 1., 1. hagarlo, 11. marcalloto, 11. 11. 17.	
2 *A	5 387-F
2.論文標題	5 . 発行年
El Nino-related sea surface elevation and ocean bottom pressure enhancement associated with the	2019年
retreat of the Oyashio southeast of Hokkaido, Japan	
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
Marine Geophysical Research	505-512
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.1007/s11001-019-09392-8	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
7 John Excoens (Ste. Confidence)	_
1 . 著者名	4 . 巻
Shibazaki, B., L.M. Wallace, Y. Kaneko, I. Hamling, Y. Ito, and T. Matsuzawa	124
ombazaki, b., z.m. marrado, r. mamoring, r. re, and r. matouzama	
2 - \$4-2-14-18	r マシィニケエ
2.論文標題	5 . 発行年
Three Dimensional Modeling of Spontaneous and Triggered Slow Slip Events at the Hikurangi	2019年
Subduction Zone, New Zealand	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	13250 ~ 13268
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2019JB018190	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 John Charles A Man John Charles	W1/0
. #46	. 24
1.著者名	4.巻
Shimizu, K., Y. Yagi, R. Okuwaki, and Y. Fukahata	220
2 . 論文標題	5.発行年
- Nove - 1000	
Development of an inversion method to extract information on fault geometry from teleseismic	2019年
data	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	1055 ~ 1065
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/gji/ggz496	有
10.1000/g]1/gg=100	F
オー バルクラ /	国際共著
オープンアクセス	HI377 H
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4.巻 524
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa	- 4.巻 524
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題	- 4.巻 ⁵²⁴ 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab:	- 4.巻 524
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications	- 4.巻 524 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab:	- 4.巻 ⁵²⁴ 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名	- 4.巻 524 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications	- 4.巻 524 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名	- 4.巻 524 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名	- 4.巻 524 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2019.115720	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2019.115720 オープンアクセス	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Evolution of Fault-Interface Rayleigh Wave speed over simulated earthquake cycles in the lab: Observations, interpretations, and implications 3 . 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2019.115720	- 4 . 巻 524 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

	4 . 巻
Ide, S.	573
,	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Frequent observations of identical onsets of large and small earthquakes	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature	112 ~ 116
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41586-019-1508-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ariyoshi, K., JP. Ampuero, R. Burgmann, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori	767
2.論文標題	5 . 発行年
Quantitative relationship between aseismic slip propagation speed and frictional properties	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	128151

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.tecto.2019.06.021	有
オープンアクセス	园咖井芸
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
4 *************************************	
1 . 著者名	4 . 巻
Ji, Y., S. Yoshioka, V.C.Manea, M. Manea, and N. Suenaga	129
2 . 論文標題	5 発生生
······	5.発行年
Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	299~312
Journal of Geodynamics	299 ~ 312
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.jog.2018.09.004	有
10.1010/j.jog.2010.00.004	5
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	W-1 / 0
1 . 著者名	4 . 巻
Nishikawa T., T. Matsuzawa, K. Ohta, N. Uchida, T. Nishimura, and S. Ide	365
2 . 論文標題	5 . 発行年
The slow earthquake spectrum in the Japan Trench illuminated by the S-net seafloor	2019年
observatories	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Science	808 ~ 813
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1126/science.aax5618	有
	〒欧井 菜
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共者

. ***	
1.著者名	4 . 巻
Xie, Z., Y. Cai, C. Wang, S. Yoshioka, and M. Tanaka	9
2.論文標題	5.発行年
Fault stress inversion reveals seismogenic asperity of the 2011 Mw 9.0 Tohoku-Oki earthquake	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	11987
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1038/s41598-019-47992-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ide, S.	124
2 . 論文標題	5 . 発行年
Detection of Low Frequency Earthquakes in Broadband Random Time Sequences: Are They Independent Events?	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	8611 ~ 8625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1029/2019JB017643	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Saez, M., S. Ruiz, S. Ide, and H. Sugioka	90
2 . 論文標題	5 . 発行年
Shallow Nonvolcanic Tremor Activity and Potential Repeating Earthquakes in the Chile Triple Junction: Seismic Evidence of the Subduction of the Active Nazca?Antarctic Spreading Center	2019年
3. 維誌名	6.最初と最後の頁
Seismological Research Letters	1740-1747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1785/0220180394	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Chang, T., and S. Ide	71
2 . 論文標題	5 . 発行年
Empirical relocation of large subduction-zone earthquakes via the teleseismic network correlation coefficient method	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>
10.1186/s40623-019-1057-z	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1.著者名	4 . 巻
Suenaga, N., S. Yoshioka, T. Matsumoto, V. C. Manea, M. Manea, and Y. Ji	124
2.論文標題	5 . 発行年
Two Dimensional Thermal Modeling of the Philippine Sea Plate Subduction in Central Japan:	2019年
Implications for Gap of Low Frequency Earthquakes and Tectonic Tremors	
	6 早知 4 早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6848 ~ 6865
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2018JB017068	有
10.1029/20103B01/000	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Mitsui, Y., and T. Kato	378
2 2244福度	r 彩红在
2 . 論文標題	5.発行年
Magmatic inflation in 2008–2010 at Mt. Fuji, Japan, inferred from sparsity-promoting L1	2019年
inversion of GNSS data	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Volcanology and Geothermal Research	29 ~ 34
Souther of Volume to the man and the medical of	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jvolgeores.2019.04.012	有
, , , ,	
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 1
. ***	
1.著者名	4 . 巻
	_
1 . 著者名 Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide	4 . 巻 46
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide	46
	46
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題	5 . 発行年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide	46
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題	5 . 発行年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough	5.発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough	5.発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雜誌名 Geophysical Research Letters	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	46 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 71
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 . 論文標題	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 71 5.発行年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 . 論文標題	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 71
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 71 5.発行年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 . 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 . 論文標題	46 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 71 5.発行年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2. 論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2. 論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2. 論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3. 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2. 論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3.雑誌名 Earth, Planets and Space	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3.雑誌名 Earth, Planets and Space	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3.雑誌名 Earth, Planets and Space	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2.論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3.雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Romanet, P., and S. Ide 2.論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3.雑誌名 Earth, Planets and Space	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 .論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 .雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 .著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 .論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3 .雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-019-1039-1	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828 ~ 5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 .論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 .雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 .論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-019-1039-1 オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828~5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, M. Shinohara, and S. Ide 2 .論文標題 Event Size Distribution of Shallow Tectonic Tremor in the Nankai Trough 3 .雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019GL083029 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 .著者名 Romanet, P., and S. Ide 2 .論文標題 Ambient tectonic tremors in Manawatu, Cape Turnagain, Marlborough, and Puysegur, New Zealand 3 .雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-019-1039-1	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5828 ~ 5836 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 71 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -

. ***	. 11
1.著者名	4 . 巻
Mizuno, N., and S. Ide	71
2 . 論文標題	
Development of a modified envelope correlation method based on maximum-likelihood method and	2019年
	2019—
application to detecting and locating deep tectonic tremors in western Japan 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	□ ・取物⊂取後の貝
Earth, Planets and Space	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-019-1022-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英型々	л ж
1 . 著者名	4.巻
Ortega-Culaciati, F., S. Yoshioka, and T. Akiyama	23
2 . 論文標題	5.発行年
Revisiting Inter-seismic Coupling in Southern Japan using Spatially Variable Slip Smoothing	2019年
Constraints	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
都市安全研究センター 研究報告	149-159
 	 査読の有無
	無
	/
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Zhu, S., S. Yoshioka, and M. Tanaka	23
2.論文標題	5.発行年
2 . 剛又信表題 Surface Deformation Prior to the Imminent 2011 mw 9.0 Tohoku-Oki Earthquake and its Geodynamic	2019年
Implications	2013 11
IMPLICATIONS 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
都市安全研究センター 研究報告	160-177
易載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	4 44
1. 著者名	4.巻
長田 史應・吉岡 祥一・末永 伸明・馬場 俊孝	23
2 . 論文標題	5 . 発行年
2.5 調文標題 - 想定海溝型巨大地震に伴う津波の数値シミュレーション	2019年
ぶた/	2019 11
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
都市安全研究センター 研究報告	1-17
HE-IP A T-WI/U T-Z / WI/UTIX III	
■#☆☆のDOL / ごごグルナゴご - カト並叫フン	本誌の左伽
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<u>-</u> オープンアクセス	国際共著
	-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

	T
1.著者名	4 . 巻
吉岡 祥一・季 頴鋒・Vlad C. Manea・Marina Manea	42
2 . 論文標題	5 . 発行年
関東下における海洋プレートの温度・脱水分布と微小地震の発生の関連性について	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東濃地震科学研究所報告	37-53
木がたらんではずかいしいが、	01-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	#
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
7 JJJ J EXCOCKTO (&R. COS FRECOS)	以当りる
1.著者名	4 . 巻
Morishige, M., and T. Kuwatani	_
2.論文標題	5.発行年
Bayesian inversion of surface heat flow in subduction zones: a framework to refine geodynamic models based on observational constraints	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International(Accepted)	_
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
<i>1</i> 4 <i>O</i>	ie ie
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
三井雄太・渡邊識	4 · 含 –
2.論文標題	5.発行年
地表変位速度場のソフトクラスタリングに基づく伊豆半島およびその周辺の地体構造区分	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地震(受理済)	- 以 // C
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
4 ##/	1 4 244
1.著者名 Ide, S., and S, Yabe	4.巻 176(3)
146, 6., and 6, rabe	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Two-Dimensional Probabilistic Cell Automaton Model for Broadband Slow Earthquakes	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Pure and Applied Geophysics	1021 ~ 1036
	The standard of the standard o
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00024-018-1976-9	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1. 著者名 Suenaga, N., J. Yingfeng, Y. Shoichi, and F. Deshan	
	│ 4 . 巻
edonaga, it., e. ringreng, r. enerent, and r. beenan	123
	.20
2.論文標題	5 . 発行年
Subduction Thermal Regime, Slab Dehydration, and Seismicity Distribution Beneath Hikurangi	2018年
	2010—
Based on 3-D Simulations	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	3080 ~ 3097
目針公立のDOL/ デジカリナイジ・カー 並回フヽ	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	直硫の行無
10.1002/2017JB015382	有
	.5
オープンアクセス	
· · · · · =· ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
TO THE PARTY OF TH	1 1/3
1.著者名	4 . 巻
	124
Xu, S., E. Fukuyama, and F. Yamashita	124
2 . 論文標題	5.発行年
Robust Estimation of Rupture Properties at Propagating Front of Laboratory Earthquakes	2019年
고 사람보선	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	0.取別と取俊の貝
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	766 ~ 787
to the second of	7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2018JB016797	有
オープンアクセス	国際共著
	国际八百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 ***	I 4 ***
1.著者名	4 . 巻
Yabe, S., T. Tonegawa, and M. Nakano	124
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	5 7V/= /T
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2019年
Scaled Energy Estimation for Shallow Slow Earthquakes	
Scaled Energy Estimation for Shallow Slow Earthquakes	2013—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6 . 最初と最後の頁 1507~1519
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth	6 . 最初と最後の頁 1507~1519
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2 . 論文標題 Backprojection to image slip 3 . 雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名 Geophysical Journal International 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gji/ggy505	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2018JB016815 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, Y. Yagi, S. Hirano, and Y. Fukahata 2.論文標題 Backprojection to image slip 3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 1507~1519 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 216 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1529~1537

Tamune, H., Y Hamamoto, N. Aso, and N. Yamamoto 75(1) 2. 論文権題 Cefepine induced encephalopathy: Neural mass modeling of triphasic wave like generalized periodic discharges with a high negative component (Tri HNC) 2018/年 2018/年 2018/年 Psychiatry and Clinical Neurosciences 6. 最初と最後の頁 34~42 横載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)		
2. 論文権題 Collapine Induced encephalopathy: Neural mass modeling of triphasic wave like generalized periodic discharges with a high negative component (Tri HWC) 3. 総話名 Psychiatry and Clinical Neurosciences 編飾的なのDOI (デジタルオブジェクト機別子) 10.1111/pcn.12786 1. 著名名 Clkuda, T., and S. Ide 2. 論文權題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3. 総話名 Rative Communications 3. 総話名 Clkuda, T., and S. Ide 2. 論文權題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3. 総話名 Nature Communications 4. 是 2018年 3. 総話名 Nature Communications 4. 是 2018年 3. 就話名 Nature Communications 4. 是 2018年 3. 就話名 Nature Communications 4. 是 2018年 3. 就話名 Nature Communications 4. 是 2018年 4. 是 2018年 4. 是 2018年 4. 是 2018年 3. 就話名 Subdiction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chille 3. 就話名 Goodynamics 6. 最初と最後の頁 - 2018年 4. 是 2018年 4. 是 2018年 3. 就話名 Nibikswa, T., and S. Ide 2. 論文權題 Nibikswa, T., and S. Ide 3. 解話名 Nibikswa, T., and S. Ide 4. 是 12. 論文權題 Nibikswa, T., and S. Ide 2. 論文權題 Nibikswa, T., and S. Ide 2. 論文權題 Nibikswa, T., and S. Ide 3. 解話名 ONUL (F299ルオブジェクト識別子) 10. 1018/19.1018/	1.著者名	4 . 巻
Cefepine induced encephalopathy: Neural mass modeling of triphasic wave like generalized periodic distanges with a high negative component (Tri HNC) 2018年 3. 始該名 Psychiatry and Clinical Neurosciences 34-42 B報論文のDOI (デジタルオブジェクト機別子) (0.1111/pon.12795 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - プンアクセス 1. 養者名 (Nuda, T., and S. Ide 4 . 巻 9 2. 論文標題 riterarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 5 . 発行年 2018年 3. 始結名 Nature Communications 6 . 量初と最後の頁 3714 指載論文のDOI (デジタルオブジェクト機別子) (1.038/s41467-018-06188-3 面際共著 - プンアクセス コープンアクセスとしている (また、その予定である) 国際共著 - プンスを対している (また、その予定である) 1. 差者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 4 . 巻 - 7 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 .	Tamune, H., Y Hamamoto, N. Aso, and N. Yamamoto	73(1)
Cefepine induced encephalopathy: Neural mass modeling of triphasic wave like generalized periodic distanges with a high negative component (Tri HNC) 2018年 3. 始該名 Psychiatry and Clinical Neurosciences 34-42 B報論文のDOI (デジタルオブジェクト機別子) (0.1111/pon.12795 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - プンアクセス 1. 養者名 (Nuda, T., and S. Ide 4 . 巻 9 2. 論文標題 riterarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 5 . 発行年 2018年 3. 始結名 Nature Communications 6 . 量初と最後の頁 3714 指載論文のDOI (デジタルオブジェクト機別子) (1.038/s41467-018-06188-3 面際共著 - プンアクセス コープンアクセスとしている (また、その予定である) 国際共著 - プンスを対している (また、その予定である) 1. 差者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 4 . 巻 - 7 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 . 参 .	a Adabitet	= 7V./= hr
periodic discharges with a high negative corponent (Tri HMC)		
3 . 熱証名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	Cefepime induced encephalopathy: Neural mass modeling of triphasic wave like generalized	2018年
Psychiatry and Clinical Neurosciences 34 - 42 指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 正読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 - 著名名		
指数論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12795		6.最初と最後の頁
1. 計計1/pcn.12796 有	Psychiatry and Clinical Neurosciences	34 ~ 42
1. 計計1/pcn.12796 有		
1. 計計1/pcn.12796 有	担動会立のDOL / デジカリナブジェクト逆則スト	本性の右無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 (Nouda, T., and S. Ide 2. 論文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3. 雑誌名 Nature Communications 4. 巻 (3714) 提載論文の001 (デジタルオプジェクト調別子) (10.1038/s41467-018-06168-3		
1 . 著名名	10.1111/pcn.12/95	1
1 . 著者名 Okuda, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 3714 提戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41487-018-06168-3 オーブンアクセス 国際共著 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 イーブンアクセス 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 オーブンアクセス 和ーブンアクセス 「最歌論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 オーブンアクセス 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Ok. Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 報誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1 . 著者名 Ramier Journal of Geophysical Research: Solid Earth Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1 . 基礎の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Okuda, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 3714 提戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41487-018-06168-3 オーブンアクセス 国際共著 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 イーブンアクセス 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 オーブンアクセス 和ーブンアクセス 「最歌論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 オーブンアクセス 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Ok. Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 報誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1 . 著者名 Ramier Journal of Geophysical Research: Solid Earth Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1 . 基礎の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
Okuda, T., and S. Ide 9 2. 漁文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 5. 発行年 2018年 3. Matical Communications 6. 最初と最後の頁 3714 Hawain Communications 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 4. 巻 - 2. 論文課題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 - 4 - 夢 10.1016/j.jog.2018.09.004 面際共著 該当する 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1. 養者名 Nishikawa, T., and S. Ide 4. 夢 123 2. 論文課題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?? Ibaraki- Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 5. 教行年 2018年 6. 最初と最後の頁 7950-7968 3. 報誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 6. 最初と最後の頁 7950-7968 4 - 夢 10.1029/2018J8015642 重読の有無 有	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Okuda, T., and S. Ide 9 2. 漁文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 5. 発行年 2018年 3. Matical Communications 6. 最初と最後の頁 3714 Hawain Communications 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 4. 巻 - 2. 論文課題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 - 4 - 夢 10.1016/j.jog.2018.09.004 面際共著 該当する 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1. 養者名 Nishikawa, T., and S. Ide 4. 夢 123 2. 論文課題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?? Ibaraki- Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 5. 教行年 2018年 6. 最初と最後の頁 7950-7968 3. 報誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 6. 最初と最後の頁 7950-7968 4 - 夢 10.1029/2018J8015642 重読の有無 有	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 3 . 雑誌名 Nature Communications 4 . 最初と最後の頁 3714 超載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06168-3 第 . 本ープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 4 . 整 7 . ②10.1016/j.jog.2018.09.004 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 7 . ②2018・20 . ③2018・20 . ④2018・20 . ⑥2018・20 . ⑥20		9
Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 2018年 3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 3714 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06168-3 無 オープンアクセス 1 . 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 一 1 . 著者名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 一 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Ratiang Application of the M77 Ibaraki-Oki Earthquake Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Ratiang Application of the M77 Ibaraki-Oki Earthquake Swarm and Foreshock Activity 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年	5.444, 1., 4.4 5. 1.5	
Hierarchical rupture growth evidenced by the initial seismic waveforms 2018年 3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 3714 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06168-3 無 オープンアクセス 1 . 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 一 1 . 著者名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 一 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M77 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Ratiang Application of the M77 Ibaraki-Oki Earthquake Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth Ratiang Application of the M77 Ibaraki-Oki Earthquake Swarm and Foreshock Activity 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年	2.論文標題	5.発行年
3 .雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 3774 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06168-3 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2 . 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 6 . 最初と最後の頁 10.1016/j.jog.2018.09.004 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 lbaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 現職論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018』B015642 有 日際共著	······	
Nature Communications 3714 37	incrarement rupture growth evidenced by the initial sersince waveroring	2010—
Nature Communications 3714 37	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 JI、Y、、S. Yoshioka、V.C. Manea、M. Manea、and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics おープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Journal of Geodynamics おープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 カープンアクセス 1. 著者名 カープンアクセス 1. 著者名 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Nki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth H戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth H戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 強調を表しますけない。 この主義を表しますけない。 この主義を表しますが、 日本のとは、 日本		
### オープンアクセス	Nataro communications	0714
### オープンアクセス		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 ー 10.1016/j.jog.2018.09.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 第 2 語の有無 10.1029/2018JB015642	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10.1038/s41467-018-06168-3	無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 4. 巻 2018年 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 4. 巻 3. 雑誌名 Journal of Seodynamics EI際共著 オープンアクセス 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 「国際共著		
1.著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2.論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3.雑誌名 Journal of Geodynamics 6.最初と最後の頁 一 2前の有無 1.著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 2.論文標題 Swith and S. Ide 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1.報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) Swith and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 1.1.	オープンアクセス	国際共著
Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 一 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 7ープンアクセス 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 一 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 7ープンアクセス 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 国際共著		_
Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga 2. 論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3. 雑誌名 Journal of Geodynamics 6. 最初と最後の頁 一 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 7ープンアクセス 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 直読の有無 10.1029/2018JB015642 1. 国際共著	1.著者名	4 . 巻
2.論文標題 Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 3.雑誌名 Journal of Geodynamics 6.最初と最後の頁 一 10.1016/j.jog.2018.09.004 オープンアクセス 1.著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 10.1029/2018J8015642 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 7950~7968 超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1029/2018J8015642 1国際共著	Ji. Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga	
Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 2018年 3.雑誌名 Journal of Geodynamics 6.最初と最後の頁 一 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 18際共著	., ., .,	
Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath north-central Chile 2018年 3.雑誌名 Journal of Geodynamics 6.最初と最後の頁 一 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 7 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 18際共著	2.論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Journal of Geodynamics 信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jog.2018.09.004 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 「表彰の有無 10.1029/2018JB015642 「富読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
Journal of Geodynamics	custom the man extractor, metamorphism and extractor, sense the contract of the	2010
Journal of Geodynamics	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	*****	
10.1016/j.jog.2018.09.004 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する は、著者名 Nishikawa, T., and S. Ide は、注意 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide は、注意 1. 著行年 2018年 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki- 0ki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity は、注意 2. 論初と最後の頁 7950~7968 相談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 有 国際共著	outhur or occuynumics	
10.1016/j.jog.2018.09.004 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する は、著者名 Nishikawa, T., and S. Ide は、注意 1. 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide は、注意 1. 著行年 2018年 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki- 0ki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity は、注意 2. 論初と最後の頁 7950~7968 相談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 有 国際共著		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 「国際共著 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 4 . 巻 Nishikawa, T., and S. Ide 5 . 発行年 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 6 . 最初と最後の頁 7950~7968 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有	10.1016/j.jog.2018.09.004	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 4 . 巻 Nishikawa, T., and S. Ide 5 . 発行年 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 6 . 最初と最後の頁 7950~7968 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有		
1 . 著者名 Nishikawa, T., and S. Ide 2 . 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 本プンアクセス 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 7950~7968	オープンアクセス	国際共著
Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 123 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 7950~7968	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Nishikawa, T., and S. Ide 2. 論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 123 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 7950~7968		
2.論文標題 Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 国際共著	1.著者名	4 . 巻
Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 国際共著	Nishikawa, T., and S. Ide	123
Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 国際共著		
Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity 3.雑誌名 Journal of Geophysical Research: Solid Earth 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 有 国際共著	Recurring Slow Slip Events and Earthquake Nucleation in the Source Region of the M?7 Ibaraki-	
Journal of Geophysical Research: Solid Earth 7950~7968 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1029/2018JB015642 有 オープンアクセス 国際共著	Oki Earthquakes Revealed by Earthquake Swarm and Foreshock Activity	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 オープンアクセス 国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018JB015642 オープンアクセス 国際共著	Journal of Geophysical Research: Solid Earth	7950 ~ 7968
10.1029/2018JB015642 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1029/2018JB015642 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセス		
	10.1029/2018JB015642	有
		[] [] [] [] [] [] [] [] [] []
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難		国際共者
	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	-

1.著者名	
	4 . 巻
Yabe, S., and S. Ide	5
2 . 論文標題	5.発行年
Variations in precursory slip behavior resulting from frictional heterogeneity	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Progress in Earth and Planetary Science	43
Trogress III Lartii and Transtary Seronce	40
	1 + + - + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40645-018-0201-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
7 JULY ENCOUNTS (&R. CONTRECTORS)	<u>-</u>
	I . w
1.著者名	4 . 巻
Mitsui, Y.	70
2.論文標題	5.発行年
Elastic interaction of parallel rate-and-state-dependent frictional faults with aging and slip	2018年
laws: slow-slip faults can sometimes host fast events	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	_
Earth, Transto and opaco	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-018-0911-8	有
	1
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	国际八百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Okuda, T., and S. Ide	70
V. 100	
2 . 論文標題	5.発行年
2. 調义惊起	3.光1]午
Streak and hierarchical structures of the Tohoku?Hokkaido subduction zone plate boundary	2018年
Streak and hierarchical structures of the Tohoku?Hokkaido subduction zone plate boundary	
	2018年
3.雑誌名	
	2018年
3.雑誌名	2018年
3.雑誌名 Earth, Planets and Space	2018年 6.最初と最後の頁 -
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年
3.雑誌名 Earth, Planets and Space	2018年 6.最初と最後の頁 -
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 -
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2.論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2.論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2. 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2.論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2. 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2.論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3.雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 2143~2160
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2. 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2.論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3.雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 2143~2160
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2 . 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3 . 雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 2143~2160
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2 . 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3 . 雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/nhess-18-2143-2018	2018年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 2143~2160 査読の有無 有
3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-018-0903-8 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aranguiz, R., L. Urra, R. Okuwaki, and Y. Yagi 2 . 論文標題 Development and application of a tsunami fragility curve of the 2015?tsunami in Coquimbo, Chile 3 . 雑誌名 Natural Hazards and Earth System Sciences	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 18 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 2143~2160

. ***	
1.著者名	4.巻
Takemura, S., T. Matsuzawa, T. Kimura, T. Tonegawa, and K. Shiomi	45
2 . 論文標題	5 . 発行年
Centroid Moment Tensor Inversion of Shallow Very Low Frequency Earthquakes Off the Kii	2018年
Peninsula, Japan, Using a Three-Dimensional Velocity Structure Model	2010
	6 見知と見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	6450 ~ 6458
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2018GL078455	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Chen. KH, HJ. Tai, S. Ide, TB. Byrne, and CW. Johnson	123
o Advisor	= 7V./= h-
2 . 論文標題	5.発行年
Tidal Modulation and Tectonic Implications of Tremors in Taiwan	2018年
•	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research: Solid Earth	5945 ~ 5964
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1029/2018JB015663	
10.1029/201838015063	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Tamaribuchi, K., Y. Yagi, B. Enescu, and S. Hirano	70
Tamar Toucht, N., T. Tagr, D. Elicseu, and C. Hirano	
2.論文標題	5.発行年
Characteristics of foreshock activity inferred from the JMA earthquake catalog	2018年
- 101 5	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-018-0866-9	有
	1
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
3 JOI JENEOUND (SIE, COUTE COND)	
1 菜2夕	л ж
1 . 著者名	4 . 巻
Cruz Atienza, V.M., Y. Ito, V. Kostoglodov, V. Hjorleifsdottir, A. Iglesias, J. Tago, M. Calo,	89
J. Real, A. Husker, S. Ide, T. Nishimura, M. Shinohara, C. Mortera Gutierrez, S. Garcia, and	
M. Kido	
2 . 論文標題	5 . 発行年
A Seismogeodetic Amphibious Network in the Guerrero Seismic Gap, Mexico	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Seismological Research Letters	1435~1449
oeramorogical neseatch Letters	1430 - 1448
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本語の右無
	査読の有無
10.1785/0220170173	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1 英本々	л У
1.著者名 	4.巻
Yabe. S., and S. Ide	45
2.論文標題	5 . 発行年
Why Do Aftershocks Occur Within the Rupture Area of a Large Earthquake?	2018年
	·
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	4780 ~ 4787
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1029/2018GL077843	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ++++/-	
1 . 著者名	4.巻
Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa	733
2 . 論文標題	5 . 発行年
Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	193~208
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
物製品 X ODUT (アンタルオフシェクト mak が) 子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034	直硫の行無 有
•	, -
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Хи, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata	733
2.論文標題	5 . 発行年
Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction	2018年
experiments	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	209 ~ 231
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.tecto.2017.11.039	有
オープンマクセフ	国際仕事
オーブンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
	<u> </u>
1.著者名	4 . 巻
Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu	733
2.論文標題	5 . 発行年
Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring	2018年
during large-scale biaxial rock friction experiments	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	182 ~ 192
	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.tecto.2017.12.023	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- -
	I

1.著者名	4.巻
中村 嘉孝・吉岡 祥一・末永 伸明・馬場 俊孝	22
2 . 論文標題	5 . 発行年
津波地震の津波数値シミュレーション	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
都市安全研究センター 研究報告	1~19
即中女主切九センラー 切九報白	1 - 19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	四际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4. 巻
北村 晃寿・三井 雄太・石橋 秀巳・森 英樹	45
北内 光寿・三升 雄人・口情 労亡・林 央倒	45
2.論文標題	5.発行年
伊豆半島南東部静岡県河津町の海岸低地における津波堆積物調査	2018年
	20101
2 Mt++47	6 見知に見後の方
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
静岡大学地球科学研究報告	1~16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
4 ***	
1,著者名	4 . 巻
望月 一磨・名和 一成・鈴山 智也	63
2.論文標題	5 . 発行年
·····	
重力観測点におけるルビジウム発振器の周波数測定	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
測地学会誌	187 ~ 191
73-03-240	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.11366/sokuchi.63.187	有
	'
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	日かハコ
	-
オープファクセスとはない、文はオープファクセスが困難	
	4 . 巻
1 . 著者名	_
	4.巻 71
1 . 著者名 MORISHIGE, M.	71
1 . 著者名	5.発行年
1.著者名 MORISHIGE, M. 2.論文標題	5.発行年
1.著者名 MORISHIGE, M.	71
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations	71 5.発行年 2018年
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名	71 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations	71 5.発行年 2018年
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名	71 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.)	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11 査読の有無
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.)	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4294/zisin.2017-10	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11 査読の有無 有
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.) 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11 査読の有無
1 . 著者名 MORISHIGE, M. 2 . 論文標題 Subduction Zone Dynamics Constrained from Numerical Models and Observations 3 . 雑誌名 Zisin (Journal of the Seismological Society of Japan. 2nd ser.) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4294/zisin.2017-10	71 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1~11 査読の有無 有

# 1 F	
1.著者名	4 . 巻
Ide, S., and J. Maury	45
2.論文標題	5 . 発行年
Seismic moment, seismic energy, and source duration of slow earthquakes: Application of	2018年
Brownian slow earthquake model to three major subduction zones	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1002/2018GL077461	有
10.1002/20100L077401	H
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Nakano, M., T. Hori, E. Araki, S. Kodaira, and S. Ide	9
2.論文標題	5 . 発行年
Shallow very-low-frequency earthquakes accompany slow slip events in the Nankai subduction zone	2018年
Sharrow very-row-frequency earthquakes accompany slow strp events in the Nankai subduction zone	2010 11
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	- 以 历已取及00只
nataro communications	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-018-03431-5	有
	-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The state of the s	
1 . 著者名	4 . 巻
Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano	45
National, L., O. 106, and W. Nanaho	
2.論文標題	5 . 発行年
Slow Earthquakes in the Microseism Frequency Band (0.1-1.0 Hz) off Kii Peninsula, Japan	2018年
2	て 目知に目後で表
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	_
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2017GL076773	有
10.1002/2017GL076773	有
	有 国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov	国際共著 - 4.巻 123
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov	国際共著 - 4.巻 123
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1559~1575
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1559~1575 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1559~1575
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014690	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1559~1575 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza, and V. Kostoglodov 2 . 論文標題 Spatiotemporal Variations in Slow Earthquakes Along the Mexican Subduction Zone 3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	国際共著 - 4 . 巻 123 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1559~1575 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
森重学	71
MET	, ,
2 . 論文標題	5 . 発行年
数値モデルと観測との比較に基づく沈み込み帯ダイナミクスの解明	2018年
XX = 0 / / C = X / X / X / X / X / X / X / X / X / X	
2 18	6 見知し見後の吾
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地震	_
+日=#-5A-か-のDO / パープンド カリーナーペンド カリ	大きの大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
望月一磨・名和一成・鈴山智也	63(3)
2.論文標題	5 . 発行年
重力観測点におけるルビジウム発振器の周波数測定	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
測地学会誌	
ᄷᆘᅪᄔ ᅼᅟᄌ ᇞ	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスでけたい Vけオープンアクセスが困難	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
1 . 著者名	_
	- 4.巻 733
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa	733
1 . 著者名	733 5 . 発行年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題	733
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa	733 5 . 発行年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault	733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault	733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無
1. 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2. 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3. 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 -
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2017.11.039.	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 一 査読の有無 有
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 733 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, K. Mizoguchi, H. Kawakata, and S. Takizawa 2 . 論文標題 Rupture preparation process controlled by surface roughness on meter-scale laboratory fault 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2018.01.034 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata 2 . 論文標題 Strain rate effect on fault slip and rupture evolution: Insight from meter-scale rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2017.11.039.	733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 193~208 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 733 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 一 査読の有無 有

│ 1 . 著者名	│ 4.巻
Suenaga, N., S. Yoshioka, T. Matsumoto, and Y. Ji	723
Cashaga, III, G. Isamota, II mateamote, and II e.	
2 *A->-1# DE	F 38.7- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
Two-dimensional thermal modeling associated with subduction of the Philippine Sea plate in	2018年
southern Kyushu, Japan	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	288 ~ 296
10.1016/j.tecto.2017.12.017	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
	_
Ross, Z.E., H. Kanamori, E. Hauksson, and N. Aso	123
2.論文標題	5 . 発行年
Dissipative intraplate faulting during the 2016 Mw 6.2 Tottori, Japan earthquake	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	1631 ~ 1642
oddinar of ocophysical research	1001 1042
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2017JB015077.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カープラグと人ではない、人はカープラグラとスが四条	M = 9 &
1.著者名	4 . 巻
	_
1 . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken	4.巻 19
Morishige, M., and P.E. van Keken	19
	_
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題	5 . 発行年
Morishige, M., and P.E. van Keken	19
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 .論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab	19 5.発行年 2018年
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題	5 . 発行年
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名	19 5.発行年 2018年
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 .論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab	19 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名	19 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名	19 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	19 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題	19 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/20176C007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2 . 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192
Morishige, M., and P.E. van Keken 2.論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3.雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2.論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3.雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation"	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2 . 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2017.12.023.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192 査読の有無 有
Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3 . 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2 . 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3 . 雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2017.12.023.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192
Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Fluid migration in a subducting viscoelastic slab 3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC007236 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Fukuyama, E., K. Tsuchida, H. Kawakata, F. Yamashita, K. Mizoguchi, and S. Xu 2. 論文標題 Spatiotemporal complexity of 2-D rupture nucleation process observed by direct monitoring during large-scale biaxial rock friction experiments 3. 雑誌名 Tectonophysics—Special Issue "Physics of Earthquake Rupture Propagation" 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tecto.2017.12.023.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 337~355 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 723 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 182~192 査読の有無 有

1.著者名	
	4.巻
Daiku, K., Y. Hiramatsu, T. Matsuzawa, and T. Mizukami	722
2.論文標題	5 . 発行年
Slow slip rate and excitation efficiency of deep low-frequency tremors beneath southwest Japan	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonophysics	314 ~ 323
	011 020
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.1016/j.tecto.2017.11.016	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
1 527	1 4 **
1.著者名	4 . 巻
Ohta, K., and S. Ide	122
2.論文標題	5 . 発行年
	2017年
Resolving the Detailed Spatiotemporal Slip Evolution of Deep Tremor in Western Japan	2017+
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	10009 ~ 10036
• •	
 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1002/2017JB014494	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The state of the s	I .
1 . 著者名	Δ 类
	4 . 巻
Nishikawa, T., and S. Ide	122
2.論文標題	5 . 発行年
Detection of earthquake swarms at subduction zones globally: Insights into tectonic controls or	
SWALD ACTIVITY	
Swarm activity	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research	6 . 最初と最後の頁 5325~5343
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research	6 . 最初と最後の頁 5325~5343
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 場載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide	6 . 最初と最後の頁 5325 ~ 5343 査読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aochi, H., and S. Ide 2 . 論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aochi, H., and S. Ide 2 . 論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 -
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3.雑誌名 Earth, Planets and Space	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aochi, H., and S. Ide 2 . 論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0676-5	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Aochi, H., and S. Ide 2.論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0676-5	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 -
3 . 雑誌名 Journal of Geophysical Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014188 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Aochi, H., and S. Ide 2 . 論文標題 Role of multiscale heterogeneity in fault slip from quasi-static numerical simulations 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space	6.最初と最後の頁 5325~5343 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 69 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁

1.著者名	4 . 巻
Araki, E., D.M. Saffer, A.J. Kopf, L.M. Wallace, T. Kimura, Y. Machida, S. Ide, and E. Davis	356
2 . 論文標題	5.発行年
Recurring and triggered slow-slip events near the trench at the Nankai Trough subduction	2017年
megathrust	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Science	1157 ~ 1160
Scrence	1137 - 1100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本性の大畑
	査読の有無
10.1126/science.aan3120	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Aso, N., V.C. Tsai, C. Schoof, G.E. Flowers, A. Whiteford, and C. Rada	122(11)
2.論文標題	5.発行年
Seismologically observed spatio-temporal drainage activity at moulins	2017年
The state of the s	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	9095 ~ 9108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2017JB014578	有
	,,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	1
1.著者名	4 . 巻
Huang, HH., N. Aso, and V.C. Tsai	211(2)
2. 論文標題	5.発行年
Toward automated directivity estimates in earthquake moment tensor inversion	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	1062 ~ 1076
• •	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1093/gji/ggx354	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	-
1 . 著者名	4 . 巻
	. —
Ji, Y., S. Yoshioka, and Y.A. Banay	44
2.論文標題	5 . 発行年
Thermal state, slab metamorphism, and interface seismicity in the Cascadia subduction zone	2017年
based on 3-D modeling	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	9242 ~ 9252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2017GL074826	有
10.1002/201100011000	, r
オープンアクセス	国際共著
A = 1 / F : 1 / A	1 国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

4 ***	4 74
1.著者名 Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, and M. Manea	4.巻
JI, I., J. IUSITUKA, V.C. MANEA, ANU M. MANEA	,
2 . 論文標題	5.発行年
Seismogenesis of dual subduction beneath Kanto, central Japan controlled by fluid release	2017年
55.5gg5515 of additional sollowin harto, contral supul controlled by find felease	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-017-16818-z	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Kitamura A., T. Imai, Y. Mitsui, M. Ito, Y. Miyairi, Y. Yokoyama, and Y. Tokuda	4(30)
論文標題	5 . 発行年
Late Holocene uplift of the Izu Islands on the northern Zenisu Ridge off Central Japan	2017年
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Progress in Earth and Planetary Science	_
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40645-017-0146-5	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T W
1. 著者名	4 . 巻
Mitsui, Y., and K. Yamada	69(166)
論文標題	5.発行年
Possible correlation between annual gravity change and shallow background seismicity rate at	2017年
subduction zone by surface load	
5.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁
. 雑誌名	6.最初と最後の頁 -
. 雑誌名 Earth, Planets and Space	_
5.雑誌名 Earth, Planets and Space 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	一
3.雑誌名 Earth, Planets and Space	_
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9	ー 査読の有無 有
5.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9	一
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9	ー 査読の有無 有
3. 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 Tープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	ー 査読の有無 有 国際共著
. 雑誌名 Earth, Planets and Space 載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名	直読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 Earth, Planets and Space 引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	ー 査読の有無 有 国際共著
3. 雑誌名 Earth, Planets and Space 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 Tープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken	ー 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2)
Earth, Planets and Space 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	ー 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2) 5 . 発行年
A in its in the stand of the standard of the standar	ー 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2)
B ・ 雑誌名 Earth, Planets and Space B 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・ 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2 ・ 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones	ー
ま、雑誌名 Earth, Planets and Space 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken . 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones . 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2) 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
ま、雑誌名 Earth, Planets and Space 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	ー
A in its in the stand of the standard of the standar	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2) 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
B . 雑誌名 Earth, Planets and Space B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research	- - - - - - - - - -
B. 雑誌名 Earth, Planets and Space 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) I. 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones B. 雑誌名 Journal of Geophysical Research	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2) 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1434~1448
B . 雑誌名 Earth, Planets and Space B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2. 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones 3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research	- - - - - - - - - -
B . 雑誌名 Earth, Planets and Space B 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) I . 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2 . 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones B . 雑誌名 Journal of Geophysical Research	- Taisの有無 有 国際共著 - Tais - Ta
B ・ 雑誌名 Earth, Planets and Space B 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-017-0753-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・ 著者名 Morishige, M., and P.E. van Keken 2 ・ 論文標題 Along arc variation in short term slow slip events caused by 3 D fluid migration in subduction zones 3 ・ 雑誌名 Journal of Geophysical Research	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 122(2) 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1434~1448

1.著者名	4 . 巻
Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori	7
2.論文標題	5.発行年
Discontinuous boundaries of slow slip events beneath the Bungo Channel, southwest Japan	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-017-06185-0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Okuwaki, R., and Y. Yagi	44
2.論文標題	5.発行年
Rupture Process during the MW 8.1 2017 Chiapas Mexico Earthquake: Shallow Intraplate Normal Faulting by Slab Bending	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	11816 ~ 11823
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2017GL075956	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Okuwaki, R., and Y. Yagi	212
2 . 論文標題	5 . 発行年
Role of geometric barriers in irregular-rupture evolution during the 2008 Wenchuan earthquake	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	1657 ~ 1664
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/gji/ggx502	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Anca, O., B. Enescu, Y. Yagi, and J. Zhuang	212
2 . 論文標題	5.発行年
Triggering and decay characteristics of dynamically activated seismicity in Southwest Japan	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Geophysical Journal International	1010 ~ 1021
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/gji/ggx456	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

	. "
1.著者名	4 . 巻
Porritt, R. W., and S. Yoshioka	36
2.論文標題	5.発行年
Evidence of Dynamic Crustal Deformation in Tohoku, Japan, From Time Varying Receiver Functions	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tectonics	1934 ~ 1946
1001011100	1001 1010
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2016TC004413	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
三井雄太,中野隼輔,森上竣介	44
2.論文標題	5 . 発行年
正則化回帰法elastic netによる地殻変動データ逆解析 : 東海スロースリップイベン ト・2011年東北地方太平洋沖地震の例	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
静岡大学地球科学研究報告	9-15
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
10.14945/00010364	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
佐藤圭介・吉岡祥一・青地秀雄	21
2.論文標題	5 . 発行年
断層の動的破壊パラメータの空間不均質分布の推定 ~2016年鳥取県中部地震を例にして~	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸大学都市安全研究センター研究報告	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
有吉 慶介,松澤 暢,Roland Burgmann,長谷川 昭,日野 亮太,堀 高峰	50(2)
2.論文標題	5 . 発行年
数値シミュレーションから見出された余効すべり伝播速度と摩擦特性の関係	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
SENAC	3~7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1.著者名 Ando,R.	4.巻 207
2.論文標題 Fast Domain Partitioning Method for dynamic boundary integral equations applicable to non-planar faults dipping in 3-D elastic half-space	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Geophysical Journal International	6.最初と最後の頁 833~847
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/gji/ggw299	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Ariyoshi K., H. Matsumoto, T. Iinuma, A. Nagano, T. Hasegawa, M. Kido, N. Uchida, T. Igarashi, and Y. Yamashita	4.巻 174
2.論文標題 Extraction of crustal deformations and oceanic fluctuations from ocean bottom pressuresmeters on Loading Velocity and Cumulative Displacement Inferred from Large-Scale Biaxial Friction Experiments	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 IEEE	6 . 最初と最後の頁 2217 ~ 2237
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/OCEANS.2016.7761035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Enescu, B., K. Shimojo, A. Opris, and Y. Yagi	4.巻 68
2.論文標題 Remote triggering of seismicity at Japanese volcanoes following the 2016 M7.3 Kumamoto earthquake	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Earth, Planets and Space	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0539-5	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Fukuyama, E., S. Xu, F. Yamashita and Mizoguchi	4.巻 20
2.論文標題 Cohesive zone length of metagabbro at supershear rupture velocity	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 The Journal of Seismology	6.最初と最後の頁 1207~1215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10950-016-9588-2	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1 7 7 7 7 7	1
1. 著者名	4.巻
Ide, S.	121
2 244-44-83	F 整件左
2.論文標題	5.発行年
Characteristics of slow earthquakes in the very low frequency band: Application to the Cascadia	2016年
subduction zone	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	5942 ~ 5952
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	大芸の左仰
	査読の有無
10.1002/2016JB013085	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ide, S., S. Yabe, and Y. Tanaka	9
2.論文標題	5 . 発行年
Earthquake potential revealed by tidal influence on earthquake size?frequency statistics	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Geoscience	834 ~ 837
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/ngeo2796	有
オープンアクセス	
· · · · · = · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老夕	
1.著者名	4.巻
Ji, Y., S. Yoshioka, and T. Matsumoto	121
2.論文標題	5 . 発行年
Z. 論文标题 Three-dimensional numerical modeling of temperature and mantle flow fields associated with	2016年
subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan	2010-1-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6. 取物と取扱の負 4458-4482
Journal of Geophysical Research	4400-4402
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2016JB012912	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1. 著者名	4 . 巻
Ji, Y., S. Yoshioka, V. C. Manea, M. Manea, and T. Matsumoto	122
0 *A	- 3×7= 4=
2.論文標題	5.発行年
Three-dimensional numerical modeling of thermal regime and slab dehydration beneath Kanto and	2016年
Tohoku, Japan	6 8481.8%-7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	332 ~ 353
Journal of Geophysical Research	1
Journal of Geophysical Research	
	│ │ 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2016JB013230	有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	_

1.著者名	4.巻
Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V. Kostoglodov, G. Gonzalez Molina, X. Perez-Campos	121
2.論文標題	5 . 発行年
Comparative study of tectonic tremor locations: Characterization of slow earthquakes in	2016年
Guerrero	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	5136 ~ 5151
Journal of deophysical Research	3130 3131
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
10.1002/2016JB013027	有
	□ 1/hy ++ ++-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Miyakawa, A., T. Sumita, Y. Okubo, R. Okuwaki, M. Otsubo, S. Uesawa, and Y. Yagi	68
,,,,	
2.論文標題	5.発行年
	2016年
Volcanic magma reservoir imaged as a low-density body beneath Aso volcano that terminated the	2010 T
2016 Kumamoto earthquake rupture	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Earth, Planets and Space	_
	1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-016-0582-2	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	自然八百
オープンデッセスとしている(また、とのデルとのな)	<u>-</u>
. #46	1 a 24
1.著者名	4 . 巻
Mochizuki, K., and Y. Mitsui	68
2.論文標題	5 . 発行年
	5.発行年 2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on	
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010	2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名	
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010	2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名	2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雜誌名 Earth, Planets and Space	2016年 6.最初と最後の頁 ー
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雜誌名 Earth, Planets and Space	2016年 6.最初と最後の頁 ー
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2.論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2.論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3.雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2.論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 4905~4912
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 4905~4912
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 4905~4912
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/2016GL068168	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 4905~4912 査読の有無 有
Crustal deformation model of the Beppu?Shimabara graben area, central Kyushu, Japan, based on inversion of three-component GNSS data in 2000?2010 3 . 雑誌名 Earth, Planets and Space 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40623-016-0550-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Porritt, R. W., and S. Yoshioka 2 . 論文標題 Slab pileup in the mantle transition zone and the 30 May 2015 Chichi-jima earthquake 3 . 雑誌名 Geophysical Research Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 4905~4912

1. 著者名	4.巻
Suenaga, N., S. Yoshioka, and T. Matsumoto	260
2.論文標題 Relationships among temperature, dehydration of the subducting Philippine Sea plate, and the occurrence of a megathrust earthquake, low-frequency earthquakes, and a slow slip event in the Tokai district, central Japan	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Physics of the Earth and Planetary Interiors	44~52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.pepi.2016.09.004	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名	4.巻
Urata, Y., F. Yamashita, E. Fukuyama, H. Noda, and K. Mizoguchi	174
2 . 論文標題 Apparent Dependence of Rate- and State-Dependent Friction Parameters on Loading Velocity and Cumulative Displacement Inferred from Large-Scale Biaxial Friction Experiments	5 . 発行年 2016年
3.雑誌名 Pure and Applied Geophys	6 . 最初と最後の頁 2217~2237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00024-016-1422-9	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
Yagi, Y., R. Okuwaki, B. Enescu, A. Kasahara, A. Miyazawa, and M. Otsubo	68
2.論文標題	5 . 発行年
Rupture process of the 2016 Kumamoto earthquake in relation to the thermal structure around Aso volcano	2016年
3.雑誌名 Earth, Planets and Space	6 . 最初と最後の頁 ー
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s40623-016-0492-3	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
Ji, Y., and S. Yoshioka	44
2.論文標題 Slab dehydration and earthquake distribution beneath southwestern and central Japan based on three-dimensional thermal modeling	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Geophysical Research Letters	2679~2686
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2016GL072295	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	4 . 巻
Yabe, S., and S. Ide	122
2.論文標題	5.発行年
Slip-behavior transitions of a heterogeneous linear fault	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Geophysical Research	387 ~ 410
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/2016JB013132	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1.著者名	4 . 巻
Ando, R.	30
2.論文標題	5 . 発行年
On Applications of Fast Domain Partitioning Method to Earthquake Simulations with	2017年
Spatiotemporal Boundary Integral Equation Method	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Mathematics for Industry	87 ~ 99
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-10-6283-4 8	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計377件(うち招待講演 17件/うち国際学会 198件)

1.発表者名

Chang, T., and S. Ide

2 . 発表標題

 $\hbox{Hypocenter Hotspots Illuminated Using a New Cross-Correlation-Based Hypocenter and Centroid Relocation Method}\\$

3 . 学会等名

AGU Fall Meeting 2021 (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名

Chang, T., and S. Ide

2 . 発表標題

Hypocenter Hotspots Illuminated by a New Cross-Correlation-Based Hypocenter and Centroid Relocation Method

3 . 学会等名

International Joint Workshop on Slow Earthquakes 2021 (国際学会)

4 . 発表年

1. 発表者名 Masuda, K., Ide, S., and T. Matsuzawa
2. 発表標題 Attenuation effect on observed frequency characteristics of broadband slow earthquakes
3.学会等名 International Joint Workshop on Slow Earthquakes 2021(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1. 発表者名 Masuda, K., Ide, S., and T. Matsuzawa
2. 発表標題 Attenuation effect on observed frequency characteristics of broadband slow earthquakes
3.学会等名 JpGU Meeting 2021(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2.発表標題 Hotspots of Hypocenters Illuminated by a Newly-Developed Cross-Correlation-Based Hypocenter and Centroid Relocation Method
3.学会等名 JpGU Meeting 2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Keisuke Ariyoshi
2.発表標題 Integrated Analysis of Geoscience Observations from the Floor to Surface of the Ocean
3.学会等名 Tokai University Online Workshop "Challenges of Marine Observations and Development of International Collaboration" (招待講演) 4.発表年
<u>マ・ル</u> な士

1.発表者名

Nobuaki Suenaga, Shoichi Yoshioka, Vlad C. Manea and Marina Manea

2 . 発表標題

Three-dimensional thermal modeling associated with subduction of the Cocos plate beneath southwestern Mexico, and its relation to the occurrence of interplate seismic events

3.学会等名

Online Workshop in February 2021 for "The Project for Hazard Assessment of Large Earthquakes and Tsunamis in the Mexican Pacific Coast for Disaster Mitigation" (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Tomoaki Nishikawa, Takuya Nishimura, Yutaro Okada

2 . 発表標題

Earthquake Swarm Detection along the Hikurangi Trench, New Zealand: Insights into the Relationship between Seismicity and Slow Slip Events

3. 学会等名

令和2年度京都大学防災研究所研究発表講演会

4.発表年

2020年

1.発表者名

吉岡 祥一

2.発表標題

東北地方太平洋沖地震後の余効すべりと固着の分布~温度に依存する粘性構造モデルを用いて~

3 . 学会等名

神戸大学都市安全研究センター第1回 震災復興・災害科学シンポジウム 東日本大震災から10年 ~わかってきたこと、今伝えたいこと~

4.発表年

2020年

1.発表者名

Futoshi Yamashita, Eiichi Fukuyama, Akihiro Shimoda, Shun Watanabe

2 . 発表標題

Frictional property of metagabbro gouge on a meter-scale laboratory fault

3 . 学会等名

AGU Fall Meeting 2020 (国際学会)

4.発表年

1.発表者名

Keisuke Ariyoshi, Jean-Paul Ampuero, Roland Bergmann

2 . 発表標題

Quantitative relationship between aseismic slip propagation speed and frictional properties

3.学会等名

AGU Fall Meeting 2020 (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Suguru Yabe, Yohei Hamada, and Takehito Suzuki

2.発表標題

Competing thermal pressurization and dilatancy hardening realizes coexistence of fast and slow slip on the shallow plate boundary fault

3 . 学会等名

AGU Fall Meeting 2020 (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Plata-Martinez, R. O., S. Ide, M. Shinohara, E.Garcia, N. Mizuno, L. A. Dominguez, T. Taira, Y. Yamashita, A.Toh, T. Yamada, J. A. Real, V. M. Cruz-Atienza, A. L.Husker, and Y. Ito

2 . 発表標題

Shallow slow earthquakes and mechanical properties at the Guerrero seismic Gap, Mexico

3.学会等名

AGU Fall Meeting 2020 (国際学会)

4.発表年

2020年

1.発表者名

Ryoichiro Agata, Amato Kasahara, Yuji Yagi

2 . 発表標題

Bayesian estimation of fault slip distributions based on ensemble modeling of th eunderground structure uncertainty

3 . 学会等名

AGU Fall Meeting 2020 (国際学会)

4 . 発表年

1	改丰 4 夕
- 1	. #XZ 4 1

有吉 慶介・飯沼 卓史・中野 優・木村 俊則・荒木 英一郎・町田 祐弥・末木 健太郎・矢田 修一郎・西山 岳洋・鈴木 健介・堀 高峰・ 高橋 成実・小平 秀一

2 . 発表標題

孔内観測およびDONETから捉えられた2020年3月のスロースリップイベントの特徴

3 . 学会等名

海洋理工学会 令和2年度 秋季大会

4.発表年

2020年

1.発表者名

有吉 慶介・飯沼 卓史・中野 優・木村 俊則・荒木 英一郎・町田 祐弥・末木 健太郎・矢田 修一郎・西山 岳洋・鈴木 健介・堀 高峰・ 高橋 成実・小平 秀一

2 . 発表標題

孔内観測およびDONETから捉えられた2020年3月のスロースリップイベントの特徴

3.学会等名

日本地震学会2020年度秋季大会

4.発表年

2020年

1.発表者名

松澤孝紀・芝崎文一郎

2 . 発表標題

南海トラフおよび日向灘におけるスロースリップイベントの数値モデリング 近年の観測研究との比較

3 . 学会等名

日本地震学会2020年度秋季大会

4.発表年

2020年

1.発表者名

西川友章, 西村卓也, 岡田悠太郎

2.発表標題

ニュージーランド・ヒクランギ海溝における群発地震検出:地震活動とスロースリップの関係への示唆

3.学会等名

日本地震学会2020年度秋季大会

4 . 発表年

1.発表者名
山下太,福山英一,下田晃嘉,渡辺俊
2 . 発表標題
メートル規模でのガウジ摩擦実験
, i was constructed
3.学会等名
日本地震学会2020年度秋季大会
口平地辰于云2020年皮4/4子八云
4 7V = /T
4.発表年
2020年
1.発表者名
Ryoichiro Agata, Amato Kasahara, Yuji Yagi
2. 発表標題
地下構造の不確かさをアンサンブルモデリングにより考慮した断層すべり分布ベイズ推定
3.学会等名
日本地震学会2020年度秋季大会
口平地辰于云2020年皮怀子八云
4.発表年
2020年
1.発表者名
Keisuke Ariyoshi
2 . 発表標題
uture perspective for effective utilization of ocean bottom pressure gauge
3.学会等名
International Tsunami Partnership(招待講演)(国際学会)
International foundam fartheromy (国际中区)
4.発表年
4 · 九松牛
2020年
1.発表者名
Chang, T., and S. Ide
2.発表標題
Joint Relocation of Centroid and Hypocenter via Cross-Correlation Approaches
3.学会等名
Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual (国際学会)
Cross Ed. (inglatinos normatinos 2020 virtuar (ERATA)
4.発表年
2020年

1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 What can we observe with DAS? 2020 Jan. JAMSTEC Muroto submarine cable experiment
3 . 学会等名 Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual(国際学会)
4.発表年 2020年
1 . 発表者名 Toh, A., WJ Chen, N Takeuchi, DS Dreger, WC Chi, and S. Ide
2 . 発表標題 Influence of a subducted oceanic ridge on the distribution of shallow VLFEs in the Nankai Trough as revealed by moment tensor inversion and cluster analysis
3 . 学会等名 Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual(国際学会)
4.発表年 2020年
1 . 発表者名 Keisuke Ariyoshi
2.発表標題 uture perspective for effective utilization of ocean bottom pressure gauge
3 . 学会等名 OceanSITE 2020(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Ryoichiro Agata, Ryoko Nakata, Yuji Yagi, Takeshi Iinuma
2 . 発表標題 Revisiting the slip distribution of the long term slow slip events in the Bungo Channel: Up and downdip limit of the distribution
3 . 学会等名 Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2 . 発表標題 Joint Relocation of Centroid and Hypocenter via Cross-Correlation Approaches
3 . 学会等名 Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual (国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 What can we observe with DAS? 2020 Jan. JAMSTEC Muroto submarine cable experiment
3 . 学会等名 Slow Earthquakes Workshop 2020 Virtual(国際学会)
4.発表年 2020年
1.発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T.
1 . 発表者名
1.発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2.発表標題
1.発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2.発表標題 Trial detection of deep low frequency tremor using analog seismograms of Kanto-Tokai Observation Network in 1988-1990 3.学会等名
1 . 発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2 . 発表標題 Trial detection of deep low frequency tremor using analog seismograms of Kanto-Tokai Observation Network in 1988-1990 3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会) 4 . 発表年
1 . 発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2 . 発表標題 Trial detection of deep low frequency tremor using analog seismograms of Kanto-Tokai Observation Network in 1988-1990 3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会) 4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2.発表標題 Trial detection of deep low frequency tremor using analog seismograms of Kanto-Tokai Observation Network in 1988-1990 3.学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020(国際学会) 4.発表年 2020年 1.発表者名 Futoshi Yamashita, Eiichi Fukuyama, Akihiro Shimoda, Shun Watanabe
1. 発表者名 Matsuzawa, T. & Takeda, T. 2. 発表標題 Trial detection of deep low frequency tremor using analog seismograms of Kanto-Tokai Observation Network in 1988-1990 3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会) 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 Futoshi Yamashita, Eiichi Fukuyama, Akihiro Shimoda, Shun Watanabe 2. 発表標題 Gouge friction on a meter-scale laboratory fault

1.発表者名 Ide, S., M. S?ez, S. Ruiz, H. Sugioka, and M. Miller
2.発表標題 Tectonic tremors in southern Chile, observed in three space-time windows
3.学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Plata Martinez, R. O., S. Ide, N. Mizuno, M. Shinohara, T. Yamada, A. Husker, J. Real, V. Cruz-Atienza, Y. Yamashita, A. Toh, Y. Ito
2. 発表標題 Fist detection of shallow tremor at the Guerrero gap, Mexico
3.学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Keisuke Ariyoshi, Akira Nagano, Takuya Hasegawa, Hiroyuki Matsumoto
2. 発表標題 Relationship between Kuroshio meander and crustal deformation around Nankai Trough
3.学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名

Keisuke Ariyoshi, Roland Burgmann, Jean-Paul Ampuero

JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)

Understanding of temporal change in slow earthquake migration speed

2 . 発表標題

3 . 学会等名

4 . 発表年 2020年

1.発表者名
矢部優・鈴木岳人
2.発表標題
スロー地震と巨大地震が共存する浅部デコルマの断層破壊メカニズム:掘削資料を用いた断層破壊数値計算による検討
3.学会等名
JpGU-AGU Joint Meeting 2020(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2020年
1 . 発表者名
阿部 大毅・吉岡 祥一
つ プレ 士 4系 P5
2 . 発表標題 2011年東北地方太平洋沖地震前15年間のプレート間カップリングの時空間分布の推定
3.学会等名
JpGU-AGU Joint Meeting 2020(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名
Nobuaki Suenaga, Shoichi Yoshioka
2.発表標題
3-D thermal modeling of generation mechanisms for short-term slowslip events and low-frequency earthquakes along the Ryukyu trench
3.学会等名
JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
Romanet, P., A. A. Florent, and S. Ide
2.発表標題
The 2016 Mw 7.8 Kaikoura earthquake and its relationship to tremors.
3.学会等名
EGU General Assembly 2020(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2020年

1. 発表者名
Ide, S., and H. Aochi
2.発表標題
ট স্টাব্যাক্ত Hierarchical seismic sources model and recent observational evidence
THORATON SOTSING SOUTHER MISER AND ASSET VALVAGINE
EGU General Assembly 2020(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名
藤亜希子

2.発表標題
南海トラフ東部に沈み込む海嶺と浅部超低周波地震の震源分布
3.学会等名
スロー地震学C01オンライン研究集会
4 Nat
4 . 発表年
2020年
4 改丰业权
1.発表者名
井出哲
最近の研究成果アラカルト
政立の前750次次 2 7377 1
3 . 学会等名
スロー地震学C01オンライン研究集会
4.発表年
2020年
1.発表者名
有吉慶介
2. 発表標題
スロー地震の伝播現象から推定される摩擦特性
3 . 子云寺石 スロー地震学CO1オンライン研究集会
ヘロー心辰士♥♥1カノブコノΨ九朱云
1 元·元·农士
2020

1. 発表者名
松澤孝紀
2 . 発表標題
関東東海地殻活動観測網による1980年代の低周波微動検出の試み
3 . チ云寺日 スロー地震学CO1オンライン研究集会
The state of the mickey of the
4.発表年
2020年
1. 発表者名
麻生尚文
確率論的破壊伝播計算で考えるスロー地震の物理的実体
3 . 子云寺石 スロー地震学CO1オンライン研究集会
2020年
1.発表者名
小澤創
Simulated Aftershock Sequences
3 . 字会寺名 スロー地震学CO1オンライン研究集会
ヘロ ^ー ^ル 版ナ∪ クノ
4.発表年
2020年
1.発表者名
中野優
ここれでは 1 日本

2
3.学会等名
スロー地震学C01オンライン研究集会
2020年

1.発表者名
八木勇治
2 7%主 t
2.発表標題 「Mask R-CNNを用いた地震同定」と「断層形状と断層すべりの同時推定」
3.学会等名
スロー地震学C01オンライン研究集会
4 . 発表年 2020年
山下真司
2 . 発表標題 高自由度震源過程モデルで明らかになった2018年Mw7.9アラスカ湾地震の複雑な破壊過程
同日田及成形を1至 C ブ ブ C 引 J 方 1 C G ブ C 2 C C T I I I I I I I I I I I I I I I I I
3.学会等名
スロー地震学C01オンライン研究集会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 森重学
2.発表標題
沈み込み帯温度構造に関するパラメータのベイズ推定
3 . 学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会
4.発表年
2020年
1. 発表者名 末永 伸明
2.発表標題
琉球海溝周辺におけるフィリピン海プレートの沈み込みに伴う3次元熱対流数値シミュレーション
3 . 学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会
4 . 発表年
2020年

1 . 発表者名 三井雄太
2 . 発表標題 2011年東北地震後の地表変位速度の ゆっくりした大森則減衰: 地震直後は余効「すべり」なのか?
2 #6###
3 . 学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会
4.発表年
2020年
1.発表者名 及川元己
2.発表標題東北日本で発生する火山性深部低周波地震のメカニズム解
3.学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会
2020年
1.発表者名 柴田律也
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2 . 発表標題 放射パターンを考慮した経験的グリーン関数を用いた震源過程解析
スロー地震学C01オンライン研究集会
4. 発表年
2020年
1.発表者名 吉岡祥一
2.発表標題 最近の研究成果と今年度の取り組みについて
3.学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 堀高峰
2 . 発表標題 ゆっくり地震・通常地震モデルの統合と大規模シミュレーションの活用
3 . 学会等名 スロー地震学C01オンライン研究集会 4 . 発表年
2020年
1 . 発表者名 Nishikawa, T., and T. Nishimura
2 . 発表標題 Semi-realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model
3.学会等名 令和元年度防災研究所研究発表講演会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
Martinez, R. O. P., S. Ide, N. Mizuno, A. Toh, M. Shinohara, T. Yamada, A. L. Husker, J. A. Real, V. M. C. Atienza, Y. Yamashita, and Y. Ito
2.発表標題 First Detection of Shallow Tremors at the Guerrero Gap, Mexico
3.学会等名 令和元年度防災研究所研究発表講演会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Detection of low frequency earthquakes in broadband random time sequences: Are they independent events?
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年

1. 発表者名 Shibata, R., G. Oikawa, N. Aso, J. Nakajima, and S. Ide
2. 発表標題 Slip Inversion with Radiation-corrected Empirical Green's Functions
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Uemura, K., S. Ide, and H. Aochi
2. 発表標題 Contribution of dynamics of cascading to the earthquake statistics: Dependency of b-value on fault properties and stress in the multiscale circular patch model
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide, and D.R. Shelly
2. 発表標題 Focal Mechanisms of LFEs in Parkfield by the amplitude inversion using synthetic waveforms
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2. 発表標題 Rupture Evolution in a Temporally Stochastic Stress Field to be Slow

3 . 学会等名

4 . 発表年 2019年

AGU Fall meeting 2019 (国際学会)

1. 発表者名 Masuda, K., S. Ide, K. Ohta, and T. Matsuzawa
2. 発表標題 Slow earthquake signals in the microseism frequency band (0.1-1.0 Hz)
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Toh, A., W. Chen, D. Dreger, W. Chi, and S. Ide
2. 発表標題 Further evidence for the influence of a subducting-ridge on the distribution of shallow VLFEs in the eastern Nankai Trough
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Romanet, P., D. Sato, and R. Ando
2.発表標題 The role of curvature of fault in earthquake mechanics.
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Agata, R.
2 . 発表標題 Introduction of covariance components in slip geodetic inversion of land and seafloor data and application to interseismic displacement rates in Nankai Trough subduction zone

3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)

4 . 発表年 2019年

_	7V. +	+ 4
- 1	4年天	~~~

Shimizu, K., Y. Yagi and R. Okuwaki

2 . 発表標題

Proving Fault Geometry with Finite-Fault Inversion of Teleseismic Data

3.学会等名

AGU Fall meeting 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Yamashita, S., Y. Yagi, R. Okuwaki, and K. Shimizu

2 . 発表標題

Rupture Process of The MW7.9 2018 Alaska Earthquake Revealed by Flexible Finite-Fault Inversion of Teleseismic Data

3 . 学会等名

AGU Fall meeting 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Oikawa, G., N. Aso, and J. Nakajima

2 . 発表標題

Focal Mechanisms of Volcanic Deep Low Frequency Earthquakes in Northeast Japan

3 . 学会等名

AGU Fall meeting 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Martinez, R. O. P., S. Ide, N. Mizuno, M. Shinohara, T. Yamada, A. L. Husker, J. A. Real, V. M. Cruz-Atienza, Y. Yamashita, A. Toh, and Y. Ito

2 . 発表標題

First insight in OBS data and shallow tremor detection at the Guerrero Gap, Mexico

3 . 学会等名

AGU Fall meeting 2019 (国際学会)

4. 発表年

1. 発表者名 Ariyoshi, K., R. Burgmann, JP. Ampuero, T.Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T.Hori
2 . 発表標題 Quantitative relationship between slow earthquake migration speed and frictional properties
3.学会等名 AGU Fall meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1. 発表者名 Martinez, R. O. P., Y. Ito, S. Ide, N. Mizuno, M. Shinohara, T. Yamada, A. L. Husker, J. A. Real, V. M. C. Atienza, Y. Yamashita, and A. Toh
2.発表標題 OBS detection of shallow tremors at the Guerrero Gap, Mexico
3.学会等名 Reunion Anual Geofisica Mexicana, Puerto Vallarta, Mexico(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 三井雄太・村松雛子・田中優作
2 . 発表標題 GNSS・GRACE・地震活動が示唆するトンガ海溝の非定常スローイベント
3.学会等名 日本測地学会第132回講演会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 山佳典史・三井雄太
2 . 発表標題 再帰型ニューラルネットワークに基づく2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の学習・予測
3.学会等名 日本測地学会第132回講演会

4 . 発表年 2019年

1.発表者名
lde, S., M.Saez, S. Ruiz, H. Sugioka, and M. Miller
•

2 . 発表標題

Tectonic tremors in southern Chile, observed in three space-time windows

3 . 学会等名

1st International Workshop on Slow and Fast Earthquakes (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Chang, T., and S. Ide

2 . 発表標題

Mainshock-Aftershock Location Relations for 2010 Mw8.8 Maule Earthquake and 3 Other Great Megathrust Earthquakes

3 . 学会等名

1st International Workshop on Slow and Fast Earthquakes (国際学会)

4 . 発表年

2019年

1.発表者名

Romanet, P., and S. Ide

2 . 発表標題

Increase of tremor activity after the Mw 7.8, 2016 Kaikoura earthquake

3 . 学会等名

1st International Workshop on Slow and Fast Earthquakes (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Uemura, K., S. Ide, and H. Aochi

2.発表標題

Contribution of dynamics of cascading to the earthquake statistics: Dependency of b-value on fault properties and stress in the multiscale circular patch mode

3 . 学会等名

1st International Workshop on Slow and Fast Earthquakes (国際学会)

4. 発表年

_	7V. +	+ 4
- 1	4年天	~~~

Aso, N., R. Ando, and S. Ide

2 . 発表標題

Temporally stochastic stress perturbations enable slow ruptures

3.学会等名

Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Toh, A., W. Chen, D. Dreger, W. Chi, and S. Ide

2 . 発表標題

Further evidence for the influence of a subducting-ridge on the distribution of shallow VLFEs in the eastern Nankai Trough

3 . 学会等名

Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Chang, T., and S. Ide

2 . 発表標題

Towards Comparable Relative Locations between Mainshock Slips and Aftershocks

3 . 学会等名

Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)

4.発表年

2019年

1.発表者名

Martinez, R. O. P., S. Ide, N. Mizuno, M. Shinohara, T. Yamada, A. L. Husker, J. A. Real, V. M. Cruz-Atienza, Y. Yamashita, A. Toh, and Y. Ito

2 . 発表標題

First insight in OBS data and shallow tremor detection at the Guerrero Gap, Mexico

3 . 学会等名

Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)

4. 発表年

1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide, and D.R. Shelly
2 . 発表標題 Focal Mechanisms of LFEs in Parkfield by the amplitude inversion using synthetic waveforms
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Detection of low frequency earthquakes in broadband random time sequences: Are they independent events?
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Masuda, K., S. Ide, and K. Ohta
2 . 発表標題 Detection of slow earthquakes in the microseism frequency band (0.05-1.0 Hz) by large-scale waveform
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Mizuno, N., and S. Ide
2 . 発表標題 Analysis of slip evolution of tectonic tremor using similarity search
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 Romanet, P., and S. Ide
2.発表標題 Tremor activity before and after the Mw 7.8, 2016 Kaikoura earthquake
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ariyoshi, K., JP. Ampuero, R. Burgmann, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2. 発表標題 Quantitative relationship between aseismic slip migration speed and frictional properties
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, T. Akiyama, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori
2. 発表標題 Spatial distribution of long-term slow slip event from 2018 to 2019 beneath the Bungo Channel under sparsity constraints
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Mitsui, Y., H. Muramatsu, and Y. Tanaka
2. 発表標題 Long-term slow event at the Tonga Trench inferred from GNSS, GRACE, and seismicity

3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名 Oba, S., and Y. Mitsui
2 . 発表標題 Inertia term governs displacement of stick-slip experiment
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Yamaga, N., and Y. Mitsui
2 . 発表標題 Machine learning of postseismic deformation of the 2011 Tohoku-Oki earthquake based on recurrent neural network
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Nishikawa, T., and T. Nishimura
Nishikawa, T., and T. Nishimura 2.発表標題
Nishikawa, T., and T. Nishimura 2 . 発表標題 Realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model 3 . 学会等名
Nishikawa, T., and T. Nishimura 2 . 発表標題 Realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会) 4 . 発表年
Nishikawa, T., and T. Nishimura 2. 発表標題 Realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会) 4. 発表年 2019年
Nishikawa, T., and T. Nishimura 2. 発表標題 Realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2019 (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, and S. Xu

1 . 発表者名 柴田 律也・及川 元己・麻生 尚文・中島 淳一・井出 哲
2 . 発表標題 放射パターンを考慮した経験的グリーン関数を用いた震源過程解析
3.学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 麻生 未季・麻生 尚文・井出 哲
2 . 発表標題 パークフィールドの低周波地震の震源メカニズム解 ー理論波形振幅を用いた振幅インバージョンー
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 水野尚人・井出哲
2 . 発表標題 最近傍探索を用いたマッチドフィルターと深部微動すべりインバージョンの高速化
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 松澤 孝紀・加納 将行・田中 優作・麻生 尚文・井出 哲・小原 一成
2 . 発表標題 「スロー地震データベース」の取り組み
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
麻生 尚文・安藤 亮輔・井出 哲
2. 発表標題
Rupture simulation in a temporally stochastic stress field
4
3.学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
HT-DIR J ZEVIO I RINTY/Z
4.発表年
2019年
20154
4 District
1 . 発表者名
井出哲
2.発表標題
大小の地震の始まりが全く同じということは意外によくある
3 . 学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
4.発表年
2019年
1.発表者名
ザール 現代 自己
垣口 况 已:开山台:《四和光:位序字制
2.発表標題
脈動帯域におけるスロー地震信号
a NA ART
3 . 学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
Toh, A., W. Chen, D. Dreger, W. Chi, and S. Ide
2.発表標題
南海トラフ東部に沈み込む海嶺と浅部超低周波地震の震源分布
3.学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
口坐地辰子云2019年度怀子八云
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 山佳典史・三井雄太
出止大人 一川地へ
2.発表標題
再帰型ニューラルネットワークによる2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の機械学習
3.学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
4.発表年
2019年
1.発表者名
山下太・福山英一・徐世慶
2.発表標題
大型岩石摩擦実験で再現された Cascade-upプロセス
日本地震学会2019年度秋季大会
2019年
」 1.発表者名
・ 元代自日 中村 嘉孝・吉岡 祥一・馬場 俊孝
2 . 発表標題 理論津波波形を用いた断層すべり分布のインヴァージョンの検討
3.学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4.発表年 2019年
20194
1 . 発表者名 末永 伸明・吉岡 祥一・季 穎鋒
木水 仲明・吉岡 件一・字 親鉾
2. 発表標題
琉球海溝におけるフィリピン海プレートの沈み込みに伴う 3 次元温度構造モデリング
3.学会等名
日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 大庭伸一・三井雄太
2 . 発表標題 スティック・スリップ実験のすべり量を支配する慣性項
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 及川 元己・麻生 尚文・中島 淳一
2 . 発表標題 蔵王・岩手山・肘折で発生する深部低周波地震のメカニズム
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
・ 光衣有名 秋山 峻寛・吉岡 祥一
2 . 発表標題 GNSSデータを用いた2000年三宅島・神津島周辺の地震・火山活動に伴う地殻変動のモデル化
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 縣 亮一郎・飯沼卓史
2 . 発表標題 陸・海域の測地データを用いたすべり逆解析へのデータ共分散の導入と南海トラフ域のすべり欠損分布推定への適用
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 三井雄太・渡邊識
2.発表標題 GNSSデータのソフトクラスタリングに基づく伊豆半島基部のプロック境界推定:東海スロースリップ前後で変化はあったか?
3 . 学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 西川友章・西村卓也
2 . 発表標題 Realtime monitoring of seismicity anomaly around Japan using the ETAS model
3.学会等名 日本地震学会2019年度秋季大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Characteristics and interpretation of broadband slow earthquakes
3 . 学会等名 International Conference in Commemoration of 20th Anniversary of the 1999 Chi-Chi Earthquake(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Ariyoshi, K., R. Burgmann, JP. Ampuero, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2 . 発表標題 Quantitative relationship between slow earthquake migration speed and frictional properties
3.学会等名 2019 SCEC Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名
Nishikawa, T.
2.発表標題
Revealing the earthquake swarm activity along the Japan Trench and its relation to the structural heterogeneity
3 . 学会等名
11th International Workshop on Statistical Seismology(国際学会)
The monatorial monatorial containing (max) (max)
2019年
20194
. 75.4.6
1. 発表者名
Ide, S.
2. 発表標題
Frequent observation of identical onsets of large and small earthquakes
3 . 学会等名
IUGG 27th General Assembly(国際学会)
1000 Et ill Gollotte Account, Clark J. Z.
4.発表年
2019年
20194
4 W=±47
1. 発表者名
Ji, Y., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and N. Suenaga
2.発表標題
Subduction thermal structure, metamorphism and seismicity beneath northcentral Chile
3 . 学会等名
IUGG 27th General Assembly(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1
1. 発表者名
Ariyoshi, K., R. Burgmann, JP. Ampuero, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
o TV T-TETE
2.発表標題
Quantitative relationship between slow earthquake migration speed and frictional properties
3 . 学会等名
IUGG 27th General Assembly(国際学会)
4 . 発表年
2019年
2019年

1.発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, and S. Xu
2 . 発表標題 Two types of foreshock activities observed on a meter-scale laboratory fault: Slow-slip-driven and cascade-up
3 . 学会等名 The 7th International Conference on Coupled THMC Processes(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, and S. Xu
2. 発表標題 Foreshock activities controlled by slip rate on a 4-meter-long laboratory fault
3 . 学会等名 The 7th International Conference on Coupled THMC Processes(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Nishikawa, T., and T. Nishimura
2 . 発表標題 Comparison between earthquake swarm activity and crustal movements in the Hikurangi Margin, New Zealand
3 . 学会等名 Taiwan-Japan Workshop on Crustal Dynamics (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Brownian model for slow earthquakes
3 . 学会等名 Workshop on rock friction, nonlinear physics and slow earthquakes(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2 . 発表標題 Stochastic modeling of slow earthquakes comparable to observations
3 . 学会等名 JpGU meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Nishikawa, T., T. Matsuzawa, K. Ohta, N. Uchida, T. Nishimura, and S. Ide
2 . 発表標題 Revealing the slow earthquake activity in the Japan Trench and its relation to the 2011 Tohoku-Oki earthquake
3 . 学会等名 JpGU meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide
2 . 発表標題 Evaluation of Magnitude and Characteristics of Seismicity of Low Frequency Earthquakes in Parkfield
3 . 学会等名 JpGU meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Shibata, R., N. Aso, J. Nakajima, and S. Ide
2 . 発表標題 Source process of recent M6-class inland earthquakes in Japan
3.学会等名 JpGU meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

_	
	1.発表者名
	Aso, M., N. Aso, and S. Ide
ſ	2.発表標題
	Variation of Focal Mechanisms of Low Frequency Earthquakes in Parkfield

3 . 学会等名 JpGU meeting 2019 (国際学会)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名

Ide, S., T. Nishikawa, T. Matsuzawa, K. Ohta, N. Uchida, and T. Nishimura

2 . 発表標題

Tectonic tremor catalog in the Tohoku-Hokkaido-Oki region using S-net

3.学会等名

JpGU meeting 2019 (国際学会)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名

Masuda, K., S. Ide, and K. Ohta

2 . 発表標題

Detection of slow earthquakes in the microseism frequency band (0.05-1.0 Hz) by large-scale waveform

3 . 学会等名

JpGU meeting 2019 (国際学会)

4 . 発表年

2019年

1.発表者名

Toh, A., W. Chen, D. Dreger, W. Chi, and S. Ide

2 . 発表標題

Further evidence for the influence of a subducting-ridge on the spatial strain accumulation and release pattern in the shallow eastern Nankai Trough, based on VLFE distribution

3 . 学会等名

JpGU meeting 2019 (国際学会)

4 . 発表年

1.発表者名 Masaru, N., and S. Yabe
2. 発表標題 Variations of scaling relationships for shallow tremor observed along the Nankai trough
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 塩崎一郎・宇都智史・上嶋誠・畑岡寛・村上英記・大志万直人・飯尾能久・安藤和也
2.発表標題 中国・四国地方の基盤的比抵抗構造調査(2019年度)
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Suenaga, N., S. Yoshioka, and Y. Ji
2. 発表標題 Three-dimensional thermal modeling associated with subduction of the Philippine Sea plate at the Ryukyu Trench, and its relation to the occurrence of interplate seismic events
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, T. Akiyama, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori
2 . 発表標題 Spatial distribution of slow slip events off the Boso peninsula from 1996 to 2018 under sparsity constraints

3. 学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)

4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 三井雄太・森上竣介
2 . 発表標題 Slow decay of postseismic deformation compared with aftershocks following the 2011 Tohoku-oki Earthquake
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
A TV = Ir
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 三井雄太・加藤隆寛
2 . 発表標題 GNSSデータのL1インバージョンに基づく2008-2010年富士山膨張イベントの力源深さ推定
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4.発表年
2019年
1 . 発表者名 大庭伸一・三井雄太
2 . 発表標題 自然地震のすべり - 長さスケーリング則と室内実験との距離の定量化
3.学会等名
JpGU meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 山下太・福山英一・徐世慶
2.発表標題 4m長の模擬断層上で観察されたすべり速度に依存する前震活動
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年

1. 発表者名 Ariyoshi, k., JP. Ampuero, R. Burgmann, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2.発表標題 Quantitative relationship between aseismic slip migration speed and frictional properties
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4. 発表年 2019年
1 . 発表者名 余 君宇・八木 勇治・松澤 孝紀・奥脇 亮
2 . 発表標題 Automatic Approach to Low-Frequency Earthquakes Detection in Southwest Japan Based on Deep Learning Technique
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 鮎貝 崇広・八木 勇治・奥脇 亮・茅野 奎太・清水 宏亮
2 . 発表標題 断層面上における高周波励起現象の解釈を可能にするすべり速度・破壊伝播速度変化の可視化手法
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 奥脇 亮・八木 勇治
2 . 発表標題 Source-rupture process of the intraplate earthquake; its diversity related to the fault geometry and damaged fault zone
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4 . 発表年

1 . 発表者名 及川 元己・麻生 尚文・中島 淳一・松澤 暢
2 . 発表標題 Mechanisms transition of LFEs beneath Zao volcano due to the stress change induced by the 2011 Tohoku earthquake
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Martinez, R. O. P., X. P. Campos, and K. S. Singh
2 . 発表標題
Analysis of radiated seismic energy distributing in aftershock sequences at the Guerrero, Mexico subduction zone
3 . 学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
山佳典史・三井雄太
2 . 発表標題
再帰型ニューラルネットワークによる2011年東北沖地震後の余効変動予測の試み
3.学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4. 発表年
4. 策表年 2019年
1
1 . 発表者名 長谷川 拓也・永野 憲・松本 浩幸・有吉 慶介・脇田 昌英
2. 発表標題
北海道南東沖における親潮の後退に関係した海底圧力変動
3 . 学会等名 JpGU meeting 2019(国際学会)
4.発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa, T., T. Matsuzawa, K. Ohta, N. Uchida, T. Nishimura, and S. Ide
2. 発表標題 Slow Earthquake Segmentation as a Barrier to the 2011 Tohoku-Oki earthquake rupture
3.学会等名 2019 Seismological Society of America Annual Meeting(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Ariyoshi, k., JP. Ampuero, R. Burgmann, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2. 発表標題 Quantitative Relationship Between Aseismic Slip Propagation Speed and Frictional Properties
3.学会等名 2019 Seismological Society of America Annual Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Ariyoshi, k., JP. Ampuero, R. Burgmann, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2. 発表標題 Quantitative relationship between Aseismic migration speed and frictional properties
3.学会等名 European Geosciences Union General Assembly 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 麻生未季・麻生尚文・井出哲
2.発表標題 パークフィールドにおける低周波地震の震源メカニズムと地震活動の特徴
3 . 学会等名

スロー地震学 C01班研究集会

4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 水野尚人・井出哲
2 . 発表標題 ニューラルネットワークを用いた微動と地震の判別法
3 . 学会等名 スロー地震学 CO1班研究集会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 井出哲
2 . 発表標題 低周波地震はartifactか?
3 . 学会等名 スロー地震学C01班研究集会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Slow Earthquakes Worldwide: Database and Interpretation with the Science of Slow Earthquakes Project
3 . 学会等名 2019 GeoPRISMS TEI Synthesis & Integration
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yabe, S., and S. Ide
2 . 発表標題 Foreshocks and aftershocks on the frictionally heterogeneous fault
3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018(招待講演)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名
1.光仪自口
Enescu, B., K. Shimojo, A. Opris, Y. Yagi, and J. Zhuang
Ellescu, B., R. Sillillojo, A. Opilis, T. Tagi, and J. Zhuang

2 . 発表標題

Triggering and Decay Characteristics of Dynamically Activated Seismicity in Japa

3 . 学会等名

American Geophysical Union Fall meeting 2018

4.発表年

2018年

1 . 発表者名

Okuwaki, Ryo., and Y. Yagi

2 . 発表標題

How Does Frequency-band-limited Backprojection Image Relate to Actual Slip Behavior?

3.学会等名

American Geophysical Union Fall meeting 2018

4.発表年

2018年

1.発表者名

Matsuzawa, T., and B. Shibazaki

2 . 発表標題

Numerical simulation of slow slip events in the Hyuganada and Shikoku region

3 . 学会等名

American Geophysical Union Fall meeting 2018

4.発表年

2018年

1.発表者名

Nakamoto, K., Y. Hiramatsu, and T. Matsuzawa

2 . 発表標題

Spatial features of deep low frequency tremors occurring during the L-SSE period in Tokai and Western-Shikoku, southwest Japan

3 . 学会等名

American Geophysical Union Fall meeting 2018

4 . 発表年

2018年

1.発表者名 Nishikawa, T., and T. Nishimura
2. 発表標題 Comparison between Comparison between earthquake swarm activity and slow slip activity in the Ryukyu and Hikurangi Trenches
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Uemura K., S. Ide, and H. Aochi
2. 発表標題 Criticality of Self-similar Earthquake Rupture Propagation against Energetic Barrier
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4 . 発表年 2018年
1. 発表者名 Ide, S., and S, Yabe
2.発表標題 Two-Dimensional Probabilistic Cell Automaton Model for Broadband Slow Earthquakes
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4. 発表年 2018年
1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2. 発表標題 Stochasticity representing heterogeneity and reproducing various earthquakes
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018

4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Nakano, M., S. Yabe, H. Sugioka, and S. Ide
2 . 発表標題 Event size distribution of shallow tectonic tremor in the Nankai trough
3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Shimizu, K., Y. Yagi, R. Okuwaki, and Y. Fukahata
2. 発表標題 Development of an inversion method to extract information on fault geometry from teleseismic data
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Romanet, P., and S. Ide
Romanet, P., and S. Ide 2 . 発表標題
Romanet, P., and S. Ide 2 . 発表標題 Newly detected tremors in Puysegur and Marlborough fault system, New Zealand 3 . 学会等名
Romanet, P., and S. Ide 2 . 発表標題 Newly detected tremors in Puysegur and Marlborough fault system, New Zealand 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年
Romanet, P., and S. Ide 2. 発表標題 Newly detected tremors in Puysegur and Marlborough fault system, New Zealand 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
Romanet, P., and S. Ide 2. 発表標題 Newly detected tremors in Puysegur and Marlborough fault system, New Zealand 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Mizuno, N., and S. Ide

1. 発表者名
Morishig, M.
3 7V ± 1 # FE
2.発表標題
Mechanism of fluid flow near the plate interface: the importance of a thin, low-viscosity layer
NAME.
3.学会等名
American Geophysical Union Fall meeting 2018
4. 発表年
2018年
1.発表者名
Tanaka, M., and S. Yoshioka
2.発表標題
Spatiotemporal locking state on the plate interface prior to the 2011 Tohoku-Oki earthquake inverted from GNSS data
opations in the plate interface prior to the 2011 foliotic out cartificate inverted from once data
3.学会等名
American Geophysical Union Fall meeting 2018
4 3V±1r
4.発表年
2018年
- Wat 5
1.発表者名
Yoshioka, S., Y. Ji, V.C. Manea, and M. Manea
roomrona, o., i. o., v.o. manoa, and m. manoa
2.発表標題
2.発表標題
2.発表標題
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release
2.発表標題
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2. 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2 . 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji 3 . 学会等名
2. 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3. 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2. 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2 . 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2 . 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年
2 . 発表標題 Seismogenesis of Dual Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Mitsui, Y., and T. Kato 2 . 発表標題 Temporal evolution of the slow inflation event and the following transient increase of background seismicity at Mt. Fuji 3 . 学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018

1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2.発表標題 Anchoring Megathrust Slip & Seismicity: An Empirical Study
3.学会等名 American Geophysical Union Fall meeting 2018
4. 発表年 2018年
1.発表者名 Yoshioka, S.
2.発表標題 Three-dimensional thermal modeling associated with subduction of the Cocos plate beneath southern Mexico, and its relation to the occurrence of interplate seismic events
3.学会等名 JST-JICA-UNAM Workshop for the Mid-term Evaluation
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Suenaga, N., S. Yoshioka, V.C. Manea, M. Manea, and Y. Ji
2.発表標題 Three-dimensional thermal modeling associated with subduction of the Cocos plate beneath southern Mexico, and its relation to the occurrence of interplate seismic events
3.学会等名 JST-JICA-UNAM Workshop for the Mid-term Evaluation
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Ide, S.
2.発表標題 Seismic Observation of Slow Earthquakes in Nankai, Cascadia, and Mexico
3 . 学会等名 RAUGM 2018
4.発表年

1. 発表者名 Nishikawa, T., T. Matsuzawa, K. Ohta, N. Uchida, T. Nishimura, and S. Ide
2 . 発表標題 Slow-earthquake Segmentation as a Barrier to the Rupture of the 2011 Tohoku-Oki earthquake
3 . 学会等名 京都大学防災研究所平成30年度研究発表講演会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 三井雄太・加藤隆寛
2 . 発表標題 L1インバージョンに基づく富士山膨張イベントの時間変化の推定
3 . 学会等名 日本測地学会第130回講演会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 山佳典史・三井雄太
2.発表標題 再帰型ニューラルネットワークによるGNSS時系列データ予測の数値実験
3.学会等名 日本測地学会第130回講演会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 井出哲・麻生尚文・矢部優
2.発表標題 地震発生プロセスと確率過程
3.学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 麻生尚文・安	藤亮輔・井出哲
2 . 発表標題 確率論的な応	力擾乱で再現されるスロー地震
3 . 学会等名 日本地震学会	2018年度秋季大会
4.発表年	
2018年	
1.発表者名	
	出哲・青地秀雄
o 7V. — 13E FE	
2 . 発表標題 フラクタルな	不均質性をもつ断層でのGR 則のb 値と応力の関係
3.学会等名 日本地震学会	2018年度秋季大会
4 . 発表年	
2018年	
1.発表者名 藤亜希子・井	出哲・Wu-Cheng Chi
2 . 発表標題 広帯域海底地	震計の近地記録に基づく浅部VLFE とtremor の関係
3.学会等名 日本地震学会	2018年度秋季大会
4 . 発表年	
2018年	
1.発表者名 中野優・矢部	優・杉岡裕子・井出哲
2.発表標題	
	動のサイズ - 頻度分布
2 24 4 44 4	
3 . 学会等名 日本地震学会	2018年度秋季大会
4 . 発表年	
2018年	

1	. 発表者名 長田史應・吉岡祥一・馬場俊孝
2	. 発表標題 東北地方太平洋域地震の隣接地域における想定海溝型巨大地震に伴う津波の数値シミュレーション
	N/A PER C
3	. 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
4	.発表年
	2018年
1	. 発表者名
	田中もも・吉岡祥一
2	. 発表標題
2	・光衣信題 東北地方太平洋沖地震前 15 年間の地殻変動から推定したプレート間の固着・非地震性すべりの時空間分布
_	MA 77 G
3	. 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
4	.発表年
	2018年
	 1
	. 発表者名 森上竣介・三井雄太
2	. 発表標題 東北日本沈み込み境界における大きな地震後のモーメント解放速度・余震数の時間的減衰
3	. 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
1	.発表年
	・光衣牛 2018年
1	. 発表者名
'	・光な音石 及川 元己・麻生 尚文・中島 淳一・松澤 暢
_	
2	. 発表標題 東北日本で発生する火山深部低周波地震のメカニズム解
	AND A REPORT
3	. 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
	. 発表年 2018年

1.発表者名
西川友章・西村卓也
2 . 発表標題 琉球海溝・ヒクランギ海溝における群発地震活動とスロースリップ活動の比較
TO SEE LANGUE CONTRACTOR OF THE SECOND CONTRAC
2 24 4 27
3 . 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名
Chang, T., and S. Ide
2 . 発表標題 Anchoring Earthquake Slips: A Common-axis Study on Large Subduction Zone Earthquakes
2 , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3.学会等名
3 · 子云寺石 日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 安藤亮輔・今西和俊・内出崇彦・別所明彦・藤亜希子・金子りさ・井出哲
ス成の元素 プログログ(13日本)の 17円 1700年 1800年 1700年
2 7V = 1E DT
2 . 発表標題 2018 年Mw5.5 大阪府北部の地震の動的破壊シミュレーション:逆断層から横ずれ断層への破壊乗り移り
3.学会等名
日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年
2018年
1.発表者名 三井雄太
2. 艾士 特爾
2 . 発表標題 速度・状態依存摩擦則に従う断層が並行する場合:スロースリップ断層ときどき高速すべり化
3.学会等名
日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年
2018年

1 . 発表者名 山下太・福山英一・徐世慶
2 . 発表標題 4m長模擬断層面で観測された主破壊に至るまでの前震活動の特徴
3 . 学会等名 日本地震学会2018年度秋季大会
4. 発表年
2018年
1 . 発表者名 福山英一・山下太・徐世慶
2.発表標題
高速伝播するゆっくりすべり
3.学会等名
3 · 子云守石 日本地震学会2018年度秋季大会
4. 発表年
2018年
1 . 発表者名 Xu, S., E. Fukuyama, and F. Yamashita
2 . 発表標題 Evolution of Fault Zone Properties Inferred from Fault-Interface Rayleigh Wave Speed Measurement
3.学会等名
3 · 子云寺石 日本地震学会2018年度秋季大会
4.発表年
2018年
1 . 発表者名 松澤孝紀・芝崎文一郎
2.発表標題
四国・日向灘地域におけるスロースリップイベントの数値シミュレーション
3.学会等名
日本地震学会2018年度秋季大会
4 . 発表年
2018年

1. 発表者名
中本敬大・平松良浩・松澤孝紀
2. 発表標題
西南日本の長期的SSE期間に誘発される深部低周波微動の空間的特徴
3.学会等名
日本地震学会2018年度秋季大会
4.発表年 2018年
20104
1.発表者名
Yabe, S., T. Tonegawa, and M. Nakano
2.光衣標題 浅部低周波微動の地震波エネルギー
/スロドはパリバメル(玉ガウン)と「たが久上 イング)(
3.学会等名
日本地震学会2018年度秋季大会
2018年
1. 発表者名
Fukuyama, E., F. Yamashita, and S. Xu
Superfast Propagation of Slow Slip Rupture in Large-scale Rock Friction Experiments
10th ACES International Workshop
4.発表年
2018年
1.発表者名 - 乃川 元司、庶生 兴文、中息 淳一、松澤 暢
及川 元己・麻生 尚文・中島 淳一・松澤 暢
2. 発表標題
SP振幅比を用いた火山深部低周波地震の発震機構解の推定
の。近代書からている。ことは、大田では、一日である。とは、「中田では、「中では、「中田では、「日田では、「日では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「中田では、「日では、日田では、日田では、日田では、「日田では、日田では、日田では、「日では、日田では、日田では、「日田では、日田では、「日田では、日田では、日田では、「日田では、「日では、日田では、日田では、日は、日田では、「日田では、日田では、日は、日田では、「日では、日田では、日は、日田では、日田で
OF SICHERO CALLA MCD INVESTIGATION OF THE PROPERTY OF SICHE AND SICH AND SI
SUNCHINE TO CALL WELL WITH AND THE STATE OF
3.学会等名
3.学会等名 日本火山学会 2018年度秋季大会
3.学会等名 日本火山学会 2018年度秋季大会 4.発表年
3.学会等名 日本火山学会 2018年度秋季大会
3. 学会等名 日本火山学会 2018年度秋季大会 4. 発表年

1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2 . 発表標題 Anchoring Megathrust Slip & Neighboring Seismicity: An Empirical Study on Large Subduction Zone Earthquakes
3 . 学会等名 Japan-Latin America Academic Conference 2018 at Nikko
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Slow earthquake in Japan and Latin America
3 . 学会等名 Japan-Latin America Academic Conference 2018 at Nikko
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, and S. Xu
2 . 発表標題 Superfast Propagation of Slow Slip Rupture in Large-scale Rock Friction Experiments
3 . 学会等名 10th ACES International Workshop
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Yoshioka, S., Y. Ji, V. C. Manea, and M. Manea
2 . 発表標題 Seismogenesis of Double Subduction Beneath Kanto, Central Japan Controlled by Fluid Release
3 . 学会等名 10th ACES International Workshop
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Tanaka, M., and S. Yoshioka
2. 発表標題 Spatiotemporal Distributions of Interplate Coupling and Aseismic Slips Prior to the 2011 Tohoku-Oki Earthquake Inferred From GNSS Data
3.学会等名 10th ACES International Workshop
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Saez, M., S. Ruiz, S. Ide, and H. Sugioka
2.発表標題 Intense tremor activity detected by OBS stations in the Chile Triple Junction: A manifestation of a continuous slow slip?
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Ide, S., and S. Yabe
2. 発表標題 2D PCAmodel for broadband slow earthquakes
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4.発表年 2018年
1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2 . 発表標題 Slow slip and tremors driven by stochastic stress perturbation

3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018

4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Uemura K., S. Ide, and H. Aochi
2 . 発表標題 Criticality of Self-similar Earthquake Rupture Propagation against Energetic Barrier
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Morikami, S., and Y. Mitsui
2 . 発表標題 Decay characteristics of afterslip and aftershocks following the 2011 Tohoku Earthquake
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Ando,R.
2 . 発表標題 Brittle-plastic heterogeneity model for depth-dependent modes of slow earthquakes
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Toh, A., W. Chi, and S. Ide
2.発表標題 Relations between shallow VLFEs and tremors,based on near-field BBOBS records
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide
2 . 発表標題 Focal mechanisms and seismicity of LFEs on Parkfield
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Romanet, P., and S. Ide
2 . 発表標題 New Tremors Detection in New Zealand
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2 . 発表標題 A Common Axis Study on Mainshock Slip and Aftershock Distributions
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori
2 . 発表標題 Discussion based on spatial distribution of long-term slow slip events beneath the Bungo Channel
3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide
2 . 発表標題 Focal mechanisms and seismicity of LFEs in Parkfield
3 . 学会等名 SCEC 2018 Annual Meeting
4.発表年 2018年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Moment Tensor Solutions Determined For Broadband Slow Earthquakes
3 . 学会等名 The European Seismological Commission 36thGeneral Assembly
4.発表年 2018年
1.発表者名 Nishikawa, T., and S. Ide
2 . 発表標題 Slow slip events and triggered earthquakes nearby the M7 Ibarakioki, Japan, earthquakes
3 . 学会等名 The European Seismological Commission 36thGeneral Assembly
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2 . 発表標題 Stochastic Dynamic Modeling to Reproduce Variability of Earthquakes
3.学会等名 Asia Oceania Geosciences Society 15th Annual Meeting
4 . 発表年 2018年

1
1.発表者名 Mitsui, Y.
WITCOUT, I.
2 . 発表標題
Long-lasting effect of large earthquake on interval modulation of adjacent slow slip event
a NA ART
3.学会等名
Asia Oceania Geosciences Society 15th Annual Meeting
4.発表年
4. 光表年 2018年
2010+
1.発表者名
ਸ਼ਿਲਬਰ Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori
Nakata, N., II. IIIIIO, I. Nuwataiii, S. IoSiiioka, W. Okada, aliu I. IIOTI
2.発表標題
Geodetic Data Inversion for Spatial Distribution of Long-term Slow Slip Events Beneath the Bungo Channel, Southwest Japan,
Using Sparse Modelling
3.学会等名
Asia Oceania Geosciences Society 15th Annual Meeting
. We de ter
4.発表年
2018年
1 改主之存
1.発表者名
1.発表者名 Ide, S., and S. Yabe
Ide, S., and S. Yabe
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題
Ide, S., and S. Yabe
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Ide, S., and S. Yabe 2. 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Yabe,S., and S. Ide
Ide, S., and S. Yabe 2. 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Yabe,S., and S. Ide
Ide, S., and S. Yabe 2. 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Yabe,S., and S. Ide
Ide, S., and S. Yabe 2. 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Yabe,S., and S. Ide
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period 3 . 学会等名
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年
Ide, S., and S. Yabe 2 . 発表標題 A Two-dimensional Probabilistic Cell-Automaton Model for Slow Earthquakes 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yabe,S., and S. Ide 2 . 発表標題 Slip behaviors of the frictionally heterogeneous fault in the pre- and post-seismic period 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会

1. 発表者名 Aso. M., N. Aso, and S. Ide 2. 発表標題 Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Chang, T., and S. Ide
2. 発表標題 Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4. 発表年 2018年
Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
Amplitude evaluation of stacked waveforms of LFEs at Parkfield: Toward estimating focal mechanisms 3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
2018年 1.発表者名
2018年 1.発表者名
1.発表者名
Chang, T., and S. Ide
2.発表標題
Towards a Robust Slip Inversion Through Bootstrapping: Application of 4 Very Large Earthquakes
s WAME
3 . 学会等名
日本地球惑星科学連合2018年大会
. 78.45
4. 発表年
2018年
4 77 7 4 6
1. 発表者名
Romanet, P., and S. Ide
2 . 発表標題
Newly detected tremors in Puysegur and Malbourough fault system (New Zealand)
Newly detected tremors in ruysegur and marbourough raunt system (New Zearand)
3.学会等名
日本地球惑星科学連合2018年大会
4.発表年
2018年
•
1. 発表者名
中野優・矢部優
2. 発表標題
Event size distribution of shallow very-low-frequency earthquakes off the Kii Peninsula
3 . 学会等名
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
日本地球惑星科学連合2018年大会
日本地球惑星科学連合2018年大会 4.発表年
日本地球惑星科学連合2018年大会

1.発表者名
Banay, Y., S. Yoshioka, M. Tanaka, and Y. Ji
2 . 発表標題 Postseismic displacement field associated with the 2011 Tohoku-oki earthquake by temperature dependent viscosity model
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Nakata, R., H. Hino, T. Kuwatani, M. Tanaka, S. Yoshioka, M. Okada, and T. Hori
2 . 発表標題 Spatial distribution of long-term slow slip events beneath the Bungo Channel under sparsity constraints (II)
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 村松雛子・三井雄太
2 . 発表標題 Widespread changes in deep intraslab seismicity along the Tonga trench
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
日本地球惑星科学連合2018年大会 4.発表年
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Morishige, M. 2 . 発表標題 Importance of a thin, low viscosity layer on top of the slab for rock deformation and fluid migration in subduction zones
日本地球惑星科学連合2018年大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Morishige, M.

1 . 発表者名 Uemura K., S. Ide, and H. Aochi
2 . 発表標題 Criticality of cascade-up and its dependence on velocity on various fault geometry
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Okuda. T., and S. Ide
2 . 発表標題 Rupture process variability of repeating earthquakes at subduction zone
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Aso. N., R. Ando, and S. Ide
2 . 発表標題 New dynamic model of slow earthquakes considering stochasticity in rupture simulation
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 渡邊識・三井雄太
2 . 発表標題 Estimation of block boundaries around the Izu Peninsula based on GNSS data using hierarchical and non-hierarchical cluster analyses
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年

1 . 発表者名 秋山 峻寛・吉岡 祥一・田中 もも
2.発表標題 GNSSデータを用いた日本列島の歪速度場の時空間変化
3.学会等名
日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
Banay, Y., S. Yoshioka, and Y. Ji
2.発表標題
3D Rheology effects on postseismic viscoelastic surface displacement fields in subduction zones
3.学会等名
日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
奥脇亮・八木 勇治
2 . 発表標題 Shallow intraslab normal faulting: Rupture process of the Mw 8.1 2017 Chiapas Mexico earthquake
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 松川滉明・八木勇治・笠原 天人・Enescu Bogdan
2 . 発表標題 Stress Release and Rebuilding Processes of Mega-thrust Earthquake and Periodic Slowslip Detected by Focal Mechanism Patterns
otress kerease and kesurraning riveesses or mega-timust cartinquake and remode drowship beteered by rocal mechanism ratterns
3 . 学会等名
日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 下條賢梧・Enescu Bogdan・八木勇治・武田哲也
2 . 発表標題 2011年長野県北部の地震(Mw 6.2)の核形成過程
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 清水宏亮・八木勇治・奥脇亮・深畑幸俊
2 . 発表標題 モーメントテンソルの時空間分布を推定するインバージョン解析法の開発: 2013年パキスタン・バローチスターン地震への適用
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 小森純希・宍倉正展・安藤亮輔
2.発表標題 海岸段丘の新たなDEM表現と数値的検出手法 房総半島沼段丘群への適用
3.学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 松澤孝紀・田中愛幸・芝崎文一郎
2 . 発表標題 短期的スロースリップイベントの繰り返し挙動への周期的な応力擾乱の影響
3 . 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Uemura K., S. Ide, and H. Aochi
2.発表標題 Criticality of cascading-up and its dependence on rupture velocity
3.学会等名
European Geoscience Union General Assembly 2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 植村堪介・井出哲・青地秀雄
2 . 発表標題 カスケードアップの臨界性とその速度依存性
3.学会等名 スロー地震学C01班研究集会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 麻生未季・麻生尚文・井出哲
2 . 発表標題 パークフィールドでの低周波地震のスタック波形の振幅評価,スロー地震研究会
3.学会等名 スロー地震学C01班研究集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 有吉慶介
2. 発表標題 Quantitative relationship between slow earthquake migration speed and frictional properties
3 . 学会等名 スロー地震学C01班研究集会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Slow slip around the World slow earthquakes and tremors in New Zealand
3 . 学会等名 New Zealand-Japan Joint workshop on Slow Slip(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Matsuzawa, T., Y. Tanaka, and B. Shibazaki
2 . 発表標題 Numerical simulation of the effect of earth tides on short-term slow slip events in the Shikoku region
3 . 学会等名 New Zealand-Japan Joint workshop on Slow Slip(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 V=±47
1. 発表者名 Shibazaki, B., L. Wallace, I. Hamling, Y. Kaneko, Y. Ito, and T. Matsuzawa
2.発表標題 Modeling slow-slip events and their triggering by the Kaikoura earthquake along the Hikurangi subduction plate interface
3 . 学会等名 New Zealand-Japan Joint workshop on Slow Slip(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano
2. 発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1–2 Hz) off the Kii peninsula
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Chang, T., and S. Ide	
2 . 発表標題 Source Inversion of Very Large Earthquakes Using Empirical Green's Function Approach with Bootstrapping	
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名 Yagi, Y., and R. Okuwaki	
2. 発表標題 Demonstration of improved seismic source inversion method of tele-seismic body wave	
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名 Okuwaki, R., A. Kasahara, and Y. Yagi	
2.発表標題 Potency backprojection	
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名 Shimizu, K., Y. Yagi, R. Okuwaki, and A. Kasahara	
2.発表標題 Flexible kinematic earthquake rupture inversion of tele-seismic waveforms: Application to the 2013 Balochistan, Pakistar earthquake	1
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)	

4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Ide, S., and A. Takeo
2 . 発表標題 Characteristics of broadband slow earthquakes explained by a Brownian model
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Nakano, M., T. Hori, E. Araki, S. Kodaira, and S. Ide
2. 発表標題 Shallow very-low-frequency earthquakes accompanied with slow slip event along the plate boundary of the Nankai trough
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yabe, S., and S. Ide
2. 発表標題 Various slip behaviors in the frictionally heterogeneous fault model
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Ariyoshi, K., R. Burgmann, J. Ampuero, T. Matsuzawa, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2. 発表標題 Quantitative relationship between slow earthquake migration speed and frictional properties
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)

4 . 発表年 2017年

1.発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
2. 発表標題 Stochastic dynamic modeling of regular and slow earthquakes
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Maury, J., S. Ide, V. M. Cruz Atienza and V. Kostoglodov
2. 発表標題 Spatio-temporal variations in slow earthquakes along the Mexican subduction zone
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Matsuzawa, T., Y. Tanaka, and B. Shibazaki
2.発表標題 Numerical study of the effect of earth tides on recurring short-term slow slip events
3.学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, H. Kawakata, K. Mizoguchi, and S. Takizawa
2. 発表標題 Two types of foreshock activities observed on meter-scale laboratory faults: Slow-slip-driven and cascade-up

3 . 学会等名

4 . 発表年 2017年

2017 American Geophysical Union Fall Meeting (招待講演) (国際学会)

1.発表者名
Ide, S.
2 . 発表標題
2 . 光权标题 Scaling relations of fast and slow earthquakes
Coarring 10.acroins of fact and offin out inquantos
3.学会等名
Workshop: Frontiers in Studies of Earthquakes and Faults(招待講演)(国際学会)
4.発表年
4 . 完衣中 2017年
- V11 T
1.発表者名
Chang, T., and S. Ide
g,,
2.発表標題
Source Inversion of Very Large Earthquakes Using Empirical Green's Function Method and Bootstrap Technique
3.学会等名
3 . 字云等台 Workshop: Frontiers in Studies of Earthquakes and Faults(国際学会)
murnomop. Fromtiero in otudieo di cartinquaneo and faulto (国际子立)
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
吉岡祥一・田中もも
2.発表標題
テクトニックな変動から推定した2011年東北地方太平洋沖地震前のプレートの固着状態と非地震性すべりの時空間分布
3.学会等名
東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「地球環境と固体地球のかかわり」
Manager 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
福山英一・土田琴世・川方裕則・山下太・溝口一生・徐世慶
った ま 4番 PA
2. 発表標題
2 次元地震破壊伝播の実験室における直接観察
3.学会等名
日本地震学会2017年度秋季大会
4.発表年
2017年

1 . 発表者名 村松雛子・三井雄太
2.発表標題トンガ海溝における深いスラブ内地震活動の時間変化
3.学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 山下太・福山英一・徐世慶・溝口一生・川方裕則・滝沢茂
2.発表標題 メートルスケールの岩石模擬断層で観察された破壊過程と断層面の状態が及ぼす影響
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 松澤孝紀・田中愛幸・芝崎文一郎
2 . 発表標題 短期的スロースリップイベント挙動に対する地球潮汐の影響の数値モデルによる評価
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 宮本彩加・三井雄太
2 . 発表標題 本震前後の地震活動の時空間パターンを特徴づける解析手法の検討
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 三井雄太
2 . 発表標題
平行する複数のすべり面の弾性相互作用に関する数値実験
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 矢部優·井出哲
2 . 発表標題 摩擦不均質モデルによる前震・余震生成 (The genesis of foreshocks and aftershocks in the frictionally heterogeneous fault model; in Japanese)
3.学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 金子りさ・井出哲・中野優
2 . 発表標題 紀伊半島沖における脈動帯(0.1-2Hz)でのスロー地震
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4.発表年 2017年
1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2 . 発表標題 Slip Inversion of Very Large Earthquakes Using Empirical Green's Function Approach and Bootstrapping
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 植村堪介・井出哲・青地秀雄	
2.発表標題動的な臨界クラックサイズと階層円形パッチモデルの破壊連鎖	
3.学会等名	
日本地震学会2017年度秋季大会	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名	
奥田貴・井出哲・内田直希	
2.発表標題	
茨城県那珂沖で発生する中規模繰り返し地震の震源過程の揺らぎ	
3.学会等名	
日本地震学会2017年度秋季大会	
4 . 発表年 2017年	
1 . 発表者名	
西川友章・井出哲	
2.発表標題	
メキシコ海溝の群発地震とスロースリップの関係	
3.学会等名	
日本地震学会2017年度秋季大会	
4 . 発表年 2017年	
1.発表者名	
麻生 未季・麻生 尚文・井出 哲	
2.発表標題	
パークフィールドの低周波地震のスタック波形 - メカニズム推定に向けて - ,	
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会	
4 . 発表年 2017年	

1.発表者名 麻生 尚文・安藤 亮輔・井出 哲
2.発表標題 通常の地震とスロー地震の確率論的動的モデル
3 . 学会等名 日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名 井出哲・竹尾明子
2.発表標題
2 : 光衣標題 ブラウニアンモデルが説明する広帯域スロー地震の特徴
3.学会等名
日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名 中野優・堀高峰・荒木英一郎・小平秀一・井出哲
2. 改丰福田
2 . 発表標題 南海トラフにおける浅部スロースリップと同期して発生する浅部超低周波地震
3.学会等名
日本地震学会2017年度秋季大会
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名 森上竣介・三井雄太
2 . 発表標題 沈み込み帯プレート境界における大きな地震直後の断層すべり速度:改良大森則のような時間的減衰
2
3.学会等名 日本測地学会第128回講演会
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名
三井雄太・森上竣介
2. 発表標題
2.光衣標題 Elastic net 正則化による地殻変動インバージョン解析のテスト
3 . 学会等名
日本測地学会第128回講演会
4 . 発表年
2017年
1. 発表者名
Ide, S.
2.発表標題
2 . 先衣標題 Diversity and universality of slow earthquakes
The second of th
3 . 学会等名
Cargese Summer School EARTHQUAKES: nucleation, triggering, rupture, and relationships to aseismic processes(招待講演)(国
際学会)
4 . 発表年 2017年
2017—
1.発表者名
Yabe S., and S. Takemura
Yabe S., and S. Takemura
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題
Yabe S., and S. Takemura
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese)
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3 . 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会)
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3 . 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会) 4 . 発表年
Yabe S., and S. Takemura 2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3 . 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会)
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会) 4. 発表年 2017年
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会) 4. 発表年 2017年
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会) 4. 発表年 2017年
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題
2 . 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3 . 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2 . 発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1-2 Hz) off Kii peninsula
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1-2 Hz) off Kii peninsula 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1-2 Hz) off Kii peninsula 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会) 4. 発表年
Yabe S., and S. Takemura 2. 発表標題 短波長不均質を考慮した理論波形を用いた深部低周波地震のメカニズム解推定(Focal mechanism estimation of low frequency earthquake with short-wavelength heterogeneity of seismic velocity structure; in Japanese) 3. 学会等名 Wave propagation / Structural heterogeneity workshop (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano 2. 発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1-2 Hz) off Kii peninsula 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)

1.発表者名 Ide, S., and A. Takeo	
2.発表標題 Characteristics of broadband slow earthquakes explained by a Brownian model	
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)	
4.発表年 2017年	_
1.発表者名 Shibazaki, B., L. Wallace, I. Hamling, Y. Kaneko, Y. Ito, and T. Matsuzawa	
2.発表標題 Modeling slow-slip events and their triggering by the Kaikoura earthquake along the Hikurangi subduction plate interface	
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)	
4.発表年 2017年	
1.発表者名 Aso, M., N. Aso, and S. Ide	
2. 発表標題 Stacking LFEs at Parkfield: Toward Estimating Focal Mechanisms	
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)	
4 . 発表年 2017年	_
1.発表者名 Yabe,S., and S. Takemura	
2 . 発表標題 Focal mechanism estimation of low frequency earthquake using stacked envelope waveform	
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)	

1.発表者名 Chang, T., and S. Ide
2. 発表標題 Slip Inversion of Tohoku-Oki Earthquake and its Possible Contribution to Understanding of Slow Earthquakes
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 植村堪介・井出哲・青地秀雄
2. 発表標題 Dynamic nucleation zone size and the probability of cascade-up
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1. 発表者名 Nishikawa, T., and S. Ide
2. 発表標題 Recurring slow slip events and earthquake nucleation in the source regions of the M7 Ibaraki-Oki earthquakes inferred from seismicity
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Tanaka, M., and S. Yoshioka
2. 発表標題 Spatiotemporal distribution of interplate locking and aseismic slip prior to the 2011 Tohoku-Oki earthquake
3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)

4 7% ± 1/2
1. 発表者名
Mitsui, Y.
2. 艾生 桂田 日
2.発表標題
Elastic interaction of parallel micro-faults in occurrence of slow and small earthquakes
3 . 学会等名
Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Sato, K., S. Yoshioka, and H. Aochi
2.発表標題
On spatial distribution of dynamic rupture parameters for the 2016 Tottoriken-chubu earthquake
on opation distribution of dynamic reptains parameters for the 2016 fortier hand our inquaries
3.学会等名
Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Joint Norkshop on Jow Laithquakes 2017 (国际子云)
4 . 発表年
2017年
2017+
1 改主业内
1 . 発表者名
1.発表者名 Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2.発表標題
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2.発表標題
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2.発表標題
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3 . 学会等名
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2.発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2.発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3.学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2. 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2. 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes 3. 学会等名
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2. 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2 . 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2. 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2. 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes 3. 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4. 発表年
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori 2 . 発表標題 Quantified relationship between frictional properties & slow earthquake migration speed 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Aso, N., R. Ando, and S. Ide 2 . 発表標題 Numerical simulation of stochastic dynamic triggering to explain both regular and slow earthquakes 3 . 学会等名 Joint Workshop on Slow Earthquakes 2017 (国際学会)

1.発表者名 Hori T., R. Nakata, H. Hino, T. Kuwatani, S. Yoshioka, and M. Osada
2 . 発表標題 Geodetic invention for spatial distridution of slow earthquakes under sparsity constraints
3 . 学会等名 International Meeting on "High-Dimensional Data-Driven Science(国際学会)
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Sato, K., S. Yoshioka, and H. Aochi
2 . 発表標題 Geodetic invention for spatial distridution of slow earthquakes under sparsity constraints
3 . 学会等名 IAG-IASPEI 2017 (国際学会)
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Suenaga, N., S. Yoshioka, and T. Matsumoto
2 . 発表標題 Two-dimentional thermal modeling associated with subduction of the Philippine Sea Plate beneath southern Kyushu, Japan
3 . 学会等名 IAG-IASPEI 2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Morikami, S., and Y. Mitsui
2.発表標題 Slip velocities of early afterslips in northeastern Japan
3 . 学会等名 IAG-IASPEI 2017 (国際学会)
4 . 発表年

-	ジェナク
	华表石名

Ji, Y., and S. Yoshioka

2 . 発表標題

Interplate thermal regime and slab dehydration at the source region of episodic tremor and slow slip events in the Cascadia subduction zone,

3.学会等名

IAG-IASPEI 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Tanaka, M., S. Yoshioka, and Y. Nishino

2 . 発表標題

Spatiotemporal distribution of locking and aseismic slips prior to the 2011 Tohoku-oki earthquake,

3.学会等名

IAG-IASPEI 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Ide, S., S. Yabe, and Y. Tanaka

2 . 発表標題

Tidal controls on earthquake size-frequency statistics

3 . 学会等名

IAG-IASPEI 2017 (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Matsuzawa, T., and T. Takeda

2.発表標題

A trial application of analog seismograms of the Kanto-Tokai observation network for crustal observation to the detection of deep low frequency tremor

3 . 学会等名

IAG-IASPEI 2017 (国際学会)

4. 発表年

Mizuno, N., and S. Ide

2 . 発表標題

Development and evaluation of modified envelope correlation method for deep tectonic tremor

3 . 学会等名

Workshop on the corroborative project between Japan and Mexico: Hazard Assessment of Large Earthquakes and Tsunamis in the Mexican Pacific Coast for Disaster Mitigation (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Chang, T., and S. Ide

2.発表標題

Source Inversion of Very Large Earthquakes Using Empirical Green's Function with P and S Wave Data

3.学会等名

Workshop on the corroborative project between Japan and Mexico: Hazard Assessment of Large Earthquakes and Tsunamis in the Mexican Pacific Coast for Disaster Mitigation (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Nishikawa, T., and S. Ide

2.発表標題

Earthquake swarms in the Mexico subduction zone and their relationship with slow slip events and the 2014 M7.3 Papanoa earthquake

3.学会等名

Workshop on the corroborative project between Japan and Mexico: Hazard Assessment of Large Earthquakes and Tsunamis in the Mexican Pacific Coast for Disaster Mitigation (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, and V. Kostoglodov

2 . 発表標題

Slow earthquakes variations along the Mexican subduction zone

3 . 学会等名

Workshop on the corroborative project between Japan and Mexico: Hazard Assessment of Large Earthquakes and Tsunamis in the Mexican Pacific Coast for Disaster Mitigation (国際学会)

4 . 発表年

1. 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V. Kostoglodov, and X. Perez-Campos
2. 発表標題 Tremor analysis along the Mexican subduction zone
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4. 発表年 2017年
1.発表者名 Ji, Y., and S. Yoshioka
2. 発表標題 Thermal regime and slab dehydration in the subducted Juan de Fuca plate beneath the Cascadia subduction zone based on 3D numerical simulation,
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1
1.発表者名 Suenaga, N., S. Yoshioka, and T. Matsumoto
2. 発表標題 2-D thermal modeling along a non-volcanic region in southern Kyushu, Japan,
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名
I.光衣有有

Characteristics of frictional properties' relationship with afterslip propagation speed

2 . 発表標題

4 . 発表年 2017年

3. 学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)

1.発表者名 Huang, HH., N. Aso, and V.C. Tsai
2. 発表標題 Directivity moment tensor inversion toward automated estimates of earthquake rupture properties
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Matsuzawa, T., Y. Tanaka, and B. Shibazaki
2. 発表標題 Numerical modeling of slow slip events in a seismic cycle considering the effect of earth tides and the configuration of subducting plate in the Shikoku region
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年
1.発表者名 Kaneko, L., S. Ide, and M. Nakano
2.発表標題 Slow earthquakes in microseism frequency band (0.1-2 Hz) off Kii peninsula
3.学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Mizuno, N., and S. Ide
2. 発表標題 Development and evaluation of modified envelope correlation method for deep tectonic tremor

3 . 学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017 (国際学会)

1.発表者名
奥田貴・井出哲・内田直希
2 . 発表標題
東日本で発生する中規模繰り返し地震の震源過程解析
3.学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Aso, N., V.C. Tsai, C. Schoof, A. Whiteford, and G.E. Flowers
2. 発表標題
Moulins Detected as Ambient Noise Sources at the Kaskawulsh Glacier
3.学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名 Nishikawa, T., and S. Ide
NISHIRAWA, I., and S. Ide
2.発表標題
Relation between slab-bending-related hydration and earthquake swarms in subduction zones
3 . 学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4.発表年
2017年
1 改主之力
1 . 発表者名 田中 もも・吉岡 祥一
2.発表標題
テクトニックな変動から推定した東北地方太平洋沖地震前のプレート間の固着と非地震性すべりの時空間分布
3 . 学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4.発表年
2017年

1 . 発表者名 戸谷千鶴・三井雄太
2 . 発表標題 浅間山における周波数遷移を伴う高周波微動
3 . 学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4.発表年
4 · 光农年 2017年
1.発表者名 Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, H. Kawakata, K. Mizoguchi, and S. Takizawa
2 7K + 14 GE
2 . 発表標題 Influence of fault surface condition on slip stability in large-scale biaxial friction experiment
3 . 学会等名 JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名 Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata
2.発表標題
Strain rate effect on rupture nucleation and mainshock propagation speed
3.学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017 (国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
「 : 光祝自石 佐藤 大祐・安藤 亮輔
2. 改字 福昭
2 . 発表標題 O(N) methods for spatiotemporal BIEM
othy mothed for spatiotemporal bitm
3 . 学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年
2017 11

1.発表者名
森上竣介・三井雄太
2.発表標題
Comparison between postseismic slip immediately after large earthquakes in northeastern Japan
3.学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017 (国際学会)
4 . 発表年
2017年
2017+
1.発表者名
佐藤 圭介・吉岡 祥一・青地 秀雄
2.発表標題
2016年鳥取県中部地震の動的断層破壊シミュレーション
3.学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(国際学会)
4 . 発表年
2017年
2017年
. Net to
1.発表者名
井出哲・堀高峰・市村強
2 . 発表標題
大規模計算を震源の理解につなげるために
八
3 . 学会等名
JpGU-AGU joint meeting 2017(招待講演)(国際学会)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4.発表年
2017年
2011年
1.発表者名
Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, R. Burgmann, A. Hasegawa, R. Hino, and T. Hori
2 . 発表標題
Characteristics of frictional properties' relationship with afterslip propagation speed
3.学会等名
European Geosciences Union General Assembly 2017(国際学会)
(2, 2)
4.発表年
4.発表年

Yabe, S., and S. Ide

2 . 発表標題

Toward constructing a unified seismic source model

3.学会等名

The international symposium on Crustal Dynamics 2016 (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Ji, Y., and S. Yoshioka

2 . 発表標題

Slab Dehydration, Interplate Hydrousity and Seismic Distribution in Modeling deformation, faulting, and mountain building in the island-arc crust of northeastern and central Japan considering heterogeneous thermal structure

3. 学会等名

The international symposium on Crustal Dynamics 2016 (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Porritt, R. W., and S. Yoshioka

2 . 発表標題

Mapping Crustal Structure Change in Tohoku With Time-Varying P-to-S Receiver Functions

3 . 学会等名

The international symposium on Crustal Dynamics 2016 (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Sun, T., K. Wang, E. Davis, Y. Jiang, Y. Asano, and T. Matsuzawa

2.発表標題

Slow slip to trench following deeper seismic and aseismic events at Costa Rica and Nankai indicated by seafloor and formation pressure observations

3 . 学会等名

13th Annual meeting, Asia Oceania Geosciences Society(国際学会)

4. 発表年

Shibazaki, B.

2 . 発表標題

Modeling slow slip events and their interaction with large earthquakes

3.学会等名

13th Annual mShibazaki, B.eeting, Asia Oceania Geosciences Society (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Hata, M., M. Uyeshima, S. Yoshioka, N. Suenaga, and T. Matsumoto

2 . 発表標題

Geo-fluids distribution in mantle inferred from the electrical conductivity and simulated thermal

3 . 学会等名

23rd Electromagnetic Induction Workshop (国際学会)

4 . 発表年

2016年

1.発表者名

Yoshioka, S., Y. Ji, and T. Matsumoto

2 . 発表標題

Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration fields associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan

3.学会等名

35rd General Assembly of the European Seismological Commission (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Suenaga, N., Y. Ji, S. Yoshioka, V. C. Manea, and M. Manea

2 . 発表標題

3D thermal convection modeling associated with subduction of the Cocos plate in southern Mexico - Effects of trench retreat on temperature and flow fields -

3 . 学会等名

Joint Workshop for Slow Earthquakes 2016 (国際学会)

4 . 発表年

Ide, S.
2 . 発表標題 Characteristics of slow earthquakes in the very low frequency band: Application to the Cascadia subduction zone
3 . 学会等名 Joint Workshop for Slow Earthquakes 2016 (国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Ariyoshi, K., H. Matsumoto, T. Iinuma, A. Nagano, T. Hasegawa, M. Kido, N. Uchida, T. Igarashi, and Y. Yamashita
2 . 発表標題 Extraction of crustal deformations and oceanic fluctuations from ocean bottom pressures
3 . 学会等名 Oceans '16 Monterey MTS/IEEE(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名 Yoshioka, S., Y. Ji, and T. Matsumoto
2 . 発表標題 Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan
Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate,
Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan 3 . 学会等名
Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan 3 . 学会等名 The 1st Asia-Pacific Workshop on Lithosphere and Mantle Dynamics (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan 3 . 学会等名 The 1st Asia-Pacific Workshop on Lithosphere and Mantle Dynamics (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Ji, Y., and S. Yoshioka 2 . 発表標題 Slab dehydration, thermal regime, the distribution of tectonic tremors and seismicity beneath Hikurangi
Three-dimensional numerical modeling of temperature and dehydration associated with subduction of the Philippine Sea plate, southwest Japan 3 . 学会等名 The 1st Asia-Pacific Workshop on Lithosphere and Mantle Dynamics (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 Ji, Y., and S. Yoshioka

1 . 発表者名 三井雄太・山田京平
2.発表標題 グローバルスケールでの重力の時間変化と背景地震活動度との関係
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 井出哲・矢部優・田中愛幸
2 . 発表標題 なぜ超巨大地震は潮汐でトリガされるようにみえるのか?潮汐によるb値変化の可能性
3.学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 滝沢茂・福山英一・山下太・徐世慶・溝口一生・川方裕則
2 . 発表標題 巨大岩石の低速摩擦すべりで溶融するナノサイズ粉砕粒子
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Yabe, S., and S. Ide
2.発表標題 不均質線断層の滑り挙動遷移
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 大工草見子・平松良浩・松澤孝紀
2 . 発表標題 西南日本下のプレート境界遷移領域における平均すべり速度の再推定
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4.発表年
2016年
1 . 発表者名 安藤亮輔・青木陽介・内出崇彦・今西和俊・松本聡
2 . 発表標題 2016年熊本地震の3次元動的破壊シミュレーション:熱構造の効果
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
2016年
1.発表者名
山下太・福山英一・徐世慶・川方裕則・溝口一生・滝沢茂
2.発表標題
大型二軸摩擦実験において観察された前震の特徴
3.学会等名
日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 徐世慶・福山英一・山下太・溝口一生・滝沢茂・川方裕則
2. 発表標題 Revisiting the slip-weakening friction: probe into the true source properties from off-fault measurements
3.学会等名
日本地震学会2016年度秋季大会
4.発表年 2016年
£010-T

1 . 発表者名 松澤孝紀・田中愛幸・芝崎文一郎
2 . 発表標題 潮汐の影響を考慮した四国地域における短期的スロースリップイベントの数値シミュレーション
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 浅野陽一·松澤孝紀
2 . 発表標題 地震記録の長周期/短周期エネルギー比による地震・超低周波地震の分類とその分布
3 . 学会等名 日本地震学会2016年度秋季大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Ando,R.
2 . 発表標題 Application of dynamic earthquake rupture simulation to the 2016 Kumamoto earthquake
3 . 学会等名 International Conference CoMFoS16: Mathematical Analysis of Continuum Mechanics and Industrial Applications II(招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
2016年
1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
2.発表標題 Detection of Very Low Frequency earthquakes in the Mexican subduction zone
3 . 学会等名 Annual Meeting 2016 Mexican Geophysical Union(国際学会)
4.発表年 2016年

Suenaga, N., Y. Ji, S. Yoshioka, M. Manea, and V. C. Manea

2 . 発表標題

Manea Numerical simulations of temperature, dehydration, and flow fields associated with subduction of the cocos plate, and its relation to the occurrence of interplate seismic events in southern Mexico

3.学会等名

Annual Meeting 2016 Mexican Geophysical Union (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Ide, S.

2.発表標題

Tectonic tremors and the effect of tridal stress in Chilean subduction zone

3 . 学会等名

Chile-Japan Academic Forum (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Fukuyama, E., F. Yamashita, S. Xu, S. Takizawa, K. Mizoguchi, and H. Kawakata

2 . 発表標題

A possible mechanism for labquake occurrence in relation to precursory slow slip

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Xu, S., E. Fukuyama, F. Yamashita, K. Mizoguchi, S. Takizawa, and H. Kawakata

2.発表標題

Influence of fault surface heterogeneity on apparent frictional strength, slip mode and rupture mode: insights from meter-scale rock friction experiments

3 . 学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4. 発表年

Yagi, Y., R. Okuwaki, B. Enescu, A. Kasahara, A. Miyakawa, and M. Otsubo

2 . 発表標題

Rupture process of the 2016 Kumamoto earthquake in relation to the thermal structure around Aso volcano

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Ariyoshi, K., T. Matsuzawa, A. Hasegwa, R. Hino, and T. Hori

2 . 発表標題

Characteristics of frictional properties' dependency on afterslip propagation speed

3 . 学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Daiku, K., Y. Hiramatsu, and T. Matsuzawa

2 . 発表標題

Re-estimation of the average slip rate at the transition zone on the plate interface beneath southwest Japan and heterogeneity of the excitation efficiency of deep low-frequency tremors

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Ji, Y., and S. Yoshioka

2.発表標題

Thermal regime, slab dehydration and seismicity distribution beneath the Hikurangi subduction zone based on 3D simulation

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4 . 発表年

Matsuzawa, T., Y. Tanaka, and B. Shibazaki

2 . 発表標題

Numerical modeling of short-term slow slip events in the Shikoku region considering the effect of earth tides and plate configuration

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Suenaga, N., Y. Ji, S. Yoshioka, M. Manea, and V. C. Manea

2 . 発表標題

Manea Numerical simulations of temperature, dehydration, and flow fields associated with subduction of the Cocos plate, and its relation to the occurrence of interplate seismic events in southern Mexico

3. 学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Yamashita, F., E. Fukuyama, S. Xu, H. Kawakata, K. Mizoguchi, and S. Takizawa

2 . 発表標題

Influence of fault surface conditions on foreshock activity in large-scale biaxial friction experiment

3.学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos

2 . 発表標題

Detection of Very Low Frequency earthquakes in the Mexican subduction zone

3 . 学会等名

2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)

4 . 発表年

1.発表者名 Miyamoto, A., and Y. Mitsui
2 . 発表標題 A spatiotemporal pattern analysis of earthquake occurrences before and after a large earthquake
3 . 学会等名 2016 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4.発表年 2016年
1 . 発表者名 Yabe S., and S. Takemura
2.発表標題 Slip-behavior transitions of a heterogeneous linear fault
3 . 学会等名 2016 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Ando, R., Y. Aoki, T. Uchide, S. Matsumoto, T. Nishimura, and K. Imanishi
2 . 発表標題 3-D Dynamic rupture simulation for the 2106 Kumamoto, Japan, earthquake sequence: Foreshocks and M6 dynamically triggered event
3 . 学会等名 2016 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Ide, S., S. Yabe, and Y. Tanaka
2 . 発表標題 Tridal controls on earthquake size-frequency statistics
3.学会等名 2016 American Geophysical Union Fall Meeting(国際学会)
4.発表年

1.発表者名
Mitsui, Y., and K. Yamada
2.発表標題
Correlation between annual gravity changes monitored by GRACE and background seismicity rates
3.学会等名
2016 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
2010 American Geophysical Union Path Meeting (国际子云)
4 . 発表年
2016年
·
1.発表者名
Yabe, S., Y. Tanaka, H. Houston, and S. Ide
2 . 発表標題
多様な地震現象の統一的モデル化に向けて
夕怺は地辰坑秋以就一切てアル10に四11 (
3 . 学会等名
"Science of Slow Earthquake" Group CO2 meeting
orience of orow cartingaake oroup our meeting
. Webs
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
Ide, S.
2.発表標題
2.発表標題 The scaling law for slow earthquakes, rivisited
2 . 発表標題 The scaling law for slow earthquakes, rivisited
The scaling law for slow earthquakes, rivisited
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名
The scaling law for slow earthquakes, rivisited
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction 3 . 学会等名
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年
The scaling law for slow earthquakes, rivisited 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Maury, J., S. Ide, V.M. Cruz-Atienza, V.Kostoglodov, and X. Perez-Campos 2 . 発表標題 Slow earthquakes along the Mexican subduction 3 . 学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group CO1/CO2 Joint meeting

1.発表者名 Yabe, S., Y. Tanaka, H. Houston, and S. Ide
2.発表標題 Tidal sensitivity of tectonic tremors
3.学会等名 "Science of Slow Earthquake" Group C01/C02 Joint meeting
4 . 発表年 2017年
1. 発表者名 永野 憲・長谷川 拓也・松本 浩幸・有吉 慶介
2 . 発表標題 日本南岸の黒潮大蛇行の形成に伴う海底圧力変動
3 . 学会等名 ブルーアース2017
4.発表年 2017年
1.発表者名 Ide, S.
2 . 発表標題 Universality and diversity of slow earthquakes in world subduction zones
3. 学会等名 Recent Advances in Earthquake, Tsunami, and Volcano Monitoring, Hazard Evaluation, and Disaster Management in Latin America (国際学会)

〔図書〕 計2件

1.著者名	4.発行年
Donald Turcotte、Gerald Schubert、木下 正高、安藤 亮輔、岩森 光、沖野 郷子、片山 郁夫、加納 靖	2020年
之、川田 佳史、木下 正高、坂口 有人、田中 愛幸、中西 正男、西山 竜一、山野 誠、吉田 晶樹	
2.出版社	5 . 総ページ数
共立出版	632
3 . 書名	
ジオダイナミクス 原著第3版	

1.著者名 井出 哲	4 . 発行年 2017年
2.出版社 講談社	5.総ページ数 191
3.書名 絵でわかる地震の科学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

スロー地震学		
http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/sloweq/		

6 . 研究組織

	,研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	吉岡 祥一	神戸大学・都市安全研究センター・教授	
研究分担者	(Yoshioka Shoichi)		
	(20222391)	(14501)	
	有吉慶介	国立研究開発法人海洋研究開発機構・海域地震火山部門(地震	
研究分担者	(Ariyoshi Keisuke)	津波予測研究開発センター)・研究員	
	(20436075)	(82706)	
研究分担者	中野 優 (Nakano Masaru)	国立研究開発法人海洋研究開発機構・海域地震火山部門(火山・地球内部研究センター)・副主任研究員	
	(40314041)	(82706)	
	I ·		l .

6.研究組織(つづき)

_ 6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	福山 英一	京都大学・工学研究科・教授	
研究分担者	(Fukuyama Eiichi)		
	(60360369)	(14301)	
	三井 雄太	静岡大学・理学部・講師	
研究分担者	(Mitsui Yuta)		
	(80717950)	(13801)	
	山下 太 (Yamashita Futoshi)	- 東京	
	(90374165)	(82102)	
	松澤 孝紀 (Matsuzawa Takanori)	国立研究開発法人防災科学技術研究所・地震津波火山ネットワークセンター・主任研究員	
	(90500744)	(82102)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関					
米国	Stanford University	Massachusetts Institute of Technology	米国地質調査所	他3機関		
英国	University of Oxford	University of York	University of Southampton			
ニュージーランド	GNS Science					
フランス	BRGM フランス地質調査所	ENS 高等師範学校(Paris)	IPGP	他1機関		
チリ	カトリカ大学	チリ大学				
メキシコ	UNAM					
その他の国・地域(台湾)	Academia Sinica	台湾師範大学				

共同研究相手国	相手方研究機関			
				他1機関